

第四條 郵便貯金一人一度ノ預金ハ拾錢以上トシ端數ハ厘位ニ限ル一人一日ノ預金ハ五十圓以下トス

郵便貯金一人ノ預金總額ハ元利合セテ五百圓ニ超過スルコトヲ得ス
第五條 郵便貯金利子ノ割合ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

郵便貯金ノ利子ハ毎年三月三十一日ヲ期トシ之ヲ計算シ元金ニ加ヘ四月ヨリ更ニ利子ヲ付スヘシ

郵便貯金ハ之ヲ預リタル月及拾錢未滿ノ端數ニハ利子ヲ付セス

郵便貯金拂戻ノ請求アリタルトキハ拂戻證書發付ノ月ヨリ利子ヲ付セス

郵便貯金ノ利子計算上厘位未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ之ヲ除棄スヘシ

第六條 郵便貯金預ケ人ハ何時モ郵便貯金ノ全額又ハ其幾分ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得但幾分拂戻ノ場合ニハ中未タ元金ニ加サル利子ハ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ス

第七條 郵便貯金預ケ人ハ其貯金ノ幾分ヲ以テ公債證書ノ購入保管ヲ請求スルコトヲ得但其公債證書ノ額面五十圓又ハ五十圓ヲ超加シタルモノニ限ル

郵便貯金預ケ人ハ何時モ前項保管ニ係ル公債證書ノ下渡ヲ請求スルコトヲ得郵便貯金預ケ人貯金全額拂戻ヲ請求スルトキハ保管ニ係ル公債證書モ全時ニ其下渡ヲ請求スヘシ

第八條 郵便貯金ノ預ケ金額第四條ノ制限ニ超過シタルトキハ其旨ヲ貯金預ケ人ニ通知シ預ケ金額ヲ制限以内ニ引直サシムヘシ

前項ノ通知ヲ發シタル後六十日以内ニ引直ヲ爲ササルトキハ貯金預ケ人ノ爲メ其貯金ヲ以テ公債證書ヲ購入スルモノトス但此場合ニ於テ購入スル公債證書ハ額面五十圓ヲ超過スルコトヲ得ス

第九條 郵便貯金通帳ハ一人一冊ヲ限リトス若シ二冊以上ノ通帳ヲ受領シテ貯金預入ヲ爲シタルモノアリタルトキハ最初受領セシ通帳ニ記載セル貯金ノ外利子ヲ付セスシテ拂戻ヲ爲サシム若シ二冊以上通帳ノ日附同一ナルトキハ其貯金最多額ノモノニ利子ヲ付シ其他ノモノニ總テ利子ヲ付セスシテ拂戻ヲ爲サシム

第十條 郵便貯金預ケ人ハ最初貯金ノ預入ヲ爲シタル月ヨリ滿一年毎ニ其通帳ヲ遞信省ニ差出シ前期間利子ノ記入ヲ受クヘシ但一年ノ終期四月又ハ五月ニ當ルモノハ之ヲ六月ニ差出スヘシ

第十一條 郵便貯金ハ其預ケ入最後ニ貯金預入ヲ爲シタル日又ハ通帳ヲ遞信省ニ差出シ其書換又ハ利子ノ記入ヲ受ケタル日又ハ拂戻ヲ請求シタル日ヨリ起算シ十年間預入ヲ爲サス又ハ拂戻ヲ請求セス又ハ通帳ヲ遞信省ニ差出ササルトキハ滿期ノ翌月ヨリ利子ヲ付セス但保管ニ係ル公債證書ノ利子ハ此限ニアラス
尙二十年間貯金ノ預入ヲ爲サス又ハ拂戻ヲ請求セス又ハ通帳ヲ遞信省ニ差出ササ

ルトキハ其貯金ハ政府ノ所得トス

前項貯金ヲ政府ノ所得トスル場合ニ於テ保管ニ係ル公債證書アルトキハ其公債證書モ併テ政府ノ所得トス

若シ第二項ノ期限内ニ貯金ノ預入ヲ爲シ又ハ拂戻ヲ請求シ又ハ通帳ヲ遞信省ニ差出シタルトキハ其翌月ヨリ利子ヲ付ス

第十二條 郵便貯金ノ拂戻金又ハ下渡ヲ請求シタル公債證書ハ拂戻證書又ハ下渡證書ノ日附ヨリ一箇年以内ニ受取ルヘシ若シ此期限内ニ受取ラサルトキハ之ヲ供託所ニ寄託スヘシ

第十三條 郵便貯金預ケ人ハ郵便貯金ヲ家督相續人ニ讓與スル場合ヲ除クノ外其名前書換ヲ請求スルコトヲ得ス

第十四條 郵便貯金預ケ人ハ損害ヲ蒙ラシメ政府其辨償ノ責任スヘキ場合ニ於テハ郵便貯金預ケ人ハ其事故ノアリタルコトヲ知リタル日又之ヲ知リ能ハサルトキハ次期ノ利子記入期限ヨリ一箇年以内ニ其辨償ノ請求ヲ爲スヘシ若シ其期限内ニ請求ヲ爲ササルトキハ政府其責ヲ免カルモノトス

第十五條 郵便貯金事務ニ關スル郵便物ハ郵便稅ヲ免除ス

第十六條 郵便貯金ノ受渡ニ關スル書類ハ證券印稅ヲ免除ス

第十七條 本條例施行ノ細則ハ遞信大臣之ヲ定ム

附 則

明治十五年十二月第五十九號布告郵便條例第五百十七條乃至第二百二條及第二百四十二條第二項ハ本條例施行ノ日ヨリ廢止ス

◎諸印紙貼用規定

第一類

證書帳簿ヲ分チ二類ト爲シ其稅率ハ左ノ如シ

左ニ掲クル所ノ證書帳簿ハ金高ノ有無多寡ニ拘ハラズ下ニ定ムル所ノ印紙ヲ貼用スヘシ但當座預リ金引出小切手ハ大藏省ニ印稅ノ押捺ヲ請フコトヲ得

- 一 當座預リ金引出小切手 印 稅 五厘
- 一 委任狀全 全 五厘
- 一 金高記載ナキ約定證文 全 壹錢
- 一 遺金(物)證文 全 壹錢
- 一 跡式讓證文 全 壹錢
- 一 讓與證文 全 壹錢
- 一 期限ヲ定メサル預リ金證文 全 壹錢
- 一 耕地小作證文 全 壹錢

一 雇人請合狀 全 壹錢

一金高記載ナキ諸物品預リ證文 全 壹錢

一金高記載ナキ諸物品借用證文 全 壹錢

一地所家屋預リ證文 全 壹錢

一諸物品切手 全 壹錢

一借地(借家)證文 全 壹錢

一賣買仕切書 全 壹錢

一保險證文 全 壹錢

一諸會社株券 全 壹錢

一送金手形 全 壹錢

一金錢諸物品通帳 (一年以内一冊ニ付) 全 壹錢

一金錢諸物品判取帳 (一年以内一冊ニ付) 全 壹錢

一結社約定書 全 壹錢

但シ結社約定書ニ金圓授受貸借ニ係ル條項アリテ之カ効力ヲ確定スル證書帳簿ハ金高記載ナシト雖モ第二類金高記載アル諸般ノ契約書ニ準シ印紙ヲ貼用スヘシ

左ニ掲グル證書ハ金高五圓以上ノモノニ限リ下ニ定ムル所ノ印紙ヲ貼用スヘシ

一 營業ニ關スル送狀 印 稅 壹錢

二 營業ニ關スル請取書 印 稅 壹錢

右諸證書ヲ通帳ト爲ストキ總テ一年以内一冊ニ付壹錢ノ印紙ヲ貼用スヘシ

第二類

左ニ掲グル所ノ證書ハ金高ノ多寡ニ隨ヒ下ニ定ムル所ノ割合ヲ以テ印紙ヲ貼用スヘシ但シ爲替手形約束手形ハ用紙ヲ用フヘシ

一 倉錢借用證文 全 壹錢

一 地所家屋賣買證文 全 壹錢

一金高記載アル諸物品預リ證文 全 壹錢

一金高記載アル諸物品借用證文 全 壹錢

一 諸物品賣買證文 全 壹錢

一金錢定期預リ證文 全 壹錢

一金高記載アル諸般ノ契約書 同 稅 壹錢

金高壹圓以上貳拾圓未滿 同 稅 貳錢

金高貳拾圓以上五拾圓未滿 同 稅 四錢

金高五拾圓以上百圓未滿 同 稅 六錢

金高百圓以上百五拾圓未滿 同 稅 六錢

金高百五十圓以上貳百圓未滿	同	八錢
金高貳百圓以上參百圓未滿	同	拾壹錢
金高參百圓以上四百圓未滿	同	拾四錢
金高四百圓以上六百圓未滿	同	貳拾錢
金高六百圓以上八百圓未滿	同	貳拾六錢
金高八百圓以上千圓未滿	同	參拾貳錢
金高千圓以上千四百圓未滿	同	參拾八錢
金高千四百圓以上千七百圓未滿	同	四拾四錢
金高千七百圓以上貳千圓未滿	同	五拾錢
金高貳千圓以上貳千五百圓未滿	同	六拾錢
金高參千圓以上參千五百圓未滿	同	七拾錢
金高參千五百圓以上四千圓未滿	同	八拾錢
金高四千圓以上	同	九拾錢
右諸證書ヲ通帳トナスルハ其附込見積金高ニ隨ヒ下ニ定ムル所ノ印紙ヲ貼用スヘシ	同	壹圓
金高百圓未滿	印稅	四錢
金高百圓以上總テ證書稅率ニ據ルヘシ	印稅	四錢

一金錢當座預リ證文
 一質物(預リ書小札)
 金高壹圓以上貳拾圓未滿
 金高貳拾圓以上

右諸證書ヲ通帳ト爲ストキハ其附込見積金高ニ隨ヒ下ニ定ムル所ノ印紙ヲ貼用スヘシ

金高百圓未滿	印稅	貳錢
金高百圓以上	同	四錢
一爲替手形		
一荷爲替手形		
一約束手形		
金高五拾圓未滿	印稅	壹錢
金高五拾圓以上百圓未滿	同	貳錢
金高百圓以上貳百圓未滿	同	四錢
金高貳百圓以上五百圓未滿	同	八錢
金高五百圓以上千圓未滿	同	拾五錢
金高千圓以上貳千圓未滿	同	貳拾五錢

金高貳千圓以上

全

五拾錢

三百九十六

◎民事訴訟用紙貼用規則

凡ノ民事訴訟ノ書類ニハ此規則ニ從ヒ印紙ヲ貼用スルモノトス
訴狀ニハ正本一通ニ付請求ノ金額若クハ價格ニ應シ左ノ區別ニ從ヒ其受付ノ時ニ於
テ印紙ヲ貼用スヘシ

金額	五圓迄	貳拾錢
價格	拾壹圓迄	三拾錢
全	貳拾圓迄	六拾錢
全	五拾圓迄	壹圓五拾錢
全	七拾五圓迄	貳圓貳拾錢
全	百圓迄	三圓
全	貳百五拾圓迄	六圓五拾錢
全	五百圓迄	拾圓
全	七百五拾圓迄	拾三圓
全	千圓迄	拾五圓
全	貳千五百圓迄	貳拾圓

全 五千圓迄
全 五千圓以上千圓毎ニ貳圓ヲ加フ

貳拾五圓

控訴ニ於テハ右半額上告ニ於テハ全額ノ印紙ヲ加貼スヘシ
人事其他金額ニ見積ル可カラサルモノハ三圓ノ印紙ヲ貼用ス可シ其控訴上告ニ於テ
ハ加貼スルハ前項ニ同シ

但シ人事ニ於テハ極貧ノ者ニシテ市町村長ノ證明書ヲ所持スル者ハ裁判官ニ於テ
印紙ノ貼用ヲ免スルコトアルヘシ

◎聯隊區司令部條例並ニ配置

明治二十九年
三月廿五日

(勅令第五十六號)

第一條 各聯隊區ニ司令部ヲ置ク其ノ職員左ノ如シ

- 司令官 佐官
- 副官 大(中)尉
- 軍醫
- 軍吏
- 書記

司令部以下ハ現役、豫備、後備ノモノヲ以テ充ツルコトヲ得其ノ豫備、後備ノモ
ノハ身分取扱ハ召集中ノ者ニ同シ

第二條 司令官ハ師團長ニ隸シ聯隊區徵兵事務及召集事務ヲ掌ル
第三條 司令官ハ聯隊區内ニ現在スル在郷陸軍人及各補充兵役ニ在ル者ノ身上異動其ノ他願届ニ關スル事ヲ掌ル

第四條 副官ハ司令部一般ノ事務ニ服ス
第五條 軍醫ハ徵兵、志願兵及諸生徒志願者ノ身體檢査ニ從事シ且之ニ關スル事務ヲ管理ス

第六條 軍吏ハ會計一般ノ事ニ服ス
第七條 書記ハ上官ノ指揮ヲ受ケ記注計算ノ事ニ從フ
第八條 各聯隊區司令部ノ位置ハ左ノ如シ

- | | | | |
|-----|-----|-----|----|
| 本郷 | 宇都宮 | 佐倉 | 水戸 |
| 麻布 | 横濱 | 高崎 | 長野 |
| 仙臺 | 福島 | 新發田 | 柏崎 |
| 名古屋 | 津 | 豐橋 | 静岡 |
| 大阪 | 和歌山 | 大津 | 京都 |
| 廣島 | 尾道 | 山口 | 濱田 |
| 熊本 | 大村 | 鹿兒島 | 宮崎 |
| 札幌 | 函館 | 根室 | 十勝 |

弘前 盛岡 秋田 山形
 金澤 富山 敦賀 岐阜
 福知山 神戸 姫路 岡山
 九龜 徳島 松山 高知
 小倉 大分 久留米 佐賀

附 則
 第九條 濱田、大村、弘前、敦賀、久留米各聯隊區司令部ハ當分其ノ區内ニ於ケル從前ノ大隊區司令部所在地ニ置クコトヲ得
 第十條 本條例ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス
 第十一條 大隊區司令部條例ハ本條例施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

◎海軍區鎮守府配置ノ地

- | | | |
|-------|--------|----------------|
| 第一海軍區 | 横須賀鎮守府 | 相模國三浦郡横須賀港 |
| 第二海軍區 | 吳鎮守府 | 安藝國安藝郡吳港 |
| 第三海軍區 | 佐世保鎮守府 | 肥前國東彼杵郡佐世保港 |
| 第四海軍區 | 舞鶴鎮守府 | 丹後國加佐郡舞鶴港(未開港) |
| 第五海軍區 | 室蘭鎮守府 | 膽振國室蘭郡室蘭港(同上) |

◎内國諸港へノ航海里程

自橫濱	至駿河清水	五十海里
全	至伊勢四日市	百九十海里
全	至攝津神戸	三百三十三海里
全	至長門馬關	五百六十六海里
全	至肥前長崎	七百〇七海里
自橫濱	至薩摩鹿兒島	五百六十五海里
全	至琉球那覇	千〇二十五海里
全	至陸前秋ノ濱	二百七十海里
全	至陸奥青森	百六十二海里
全	至島波函館	五百十八海里
全	至後志小樽	八百十海里
全	至根室根室	八百海里
全	至越中伏木	八百三十九海里
全	至越後新潟	七百三十八海里
自神戸	至備後尾道	百〇八海里
自長崎	至筑前博多	九十六海里

◎外國有名諸港へノ航海里程

全	至肥前島原	五十五海里
全	至對馬嚴島	百十海里
自長崎	至薩摩鹿兒島港	百五十二海里
自新潟	至長門馬關	四百九十三海里
全	至越前敦賀	二百三十海里
全	至越中伏木	百二十二海里
全	至羽後酒田	六十八海里
全	至越後直江津	六十三海里
自函館	至陸奥青森	五十九海里
全	至羽後酒田	百十九海里
全	至根室根室	二百九十五海里
自橫濱	至香港	千三百五十六海里
全	至柴棍	二千二百四十九海里
全	至新嘉坡	二千八百六十三海里
全	至錫蘭	四千三百七十三海里

全	至亞丁	六千五百七海里
全	至蘇生	七千八百十五海里
全	至伊國那不見	九千三十二海里
全	至佛國馬耳塞	九千五百二十八海里
全	至布哇	三千二百四十三海里
全	至桑港	三千九百十二海里
全	至巴拿里ヲ經紐育	八千九百二十四海里
全	至濠州麥普尼	四千百二十九海里
全	自長崎	四百三十七海里
全	至芝罘	四百九十二海里
全	至天津	六百六十三海里
全	至釜山	百六十二海里
全	至仁川	四百五十八海里
全	至元山津	四百六十海里
全	至浦潮斯德	六百五十五海里

(備考一海里八十六町九分七厘五毛)

◎徵兵事務條例

明治二十九年三月三十日

(勅令第一百十二號)

第一章 徵兵區

第一條 徵兵區ハ師管及聯隊區又ハ警備隊區ノ區域ニ從フ

第二條 聯隊區及警備隊區ハ更ニ之ヲ徵募區ニ分ツ

第三條 徵募區ハ一郡又ハ一市(北海道ニ在テハ區)ヲ以テ一區ト爲ス
一市ニシテ二聯隊區ニ分屬スルモノハ各別ニ一區ト爲ス
數郡ニ一郡役所ヲ置クモノハ數郡ヲ併セ一區ト爲ス其ノ島廳ヲ置クモノ亦同シ

第四條 步兵隊ノ兵員ハ聯隊毎ニ其ノ師管ノ一聯隊區ヨリ其ノ他ノ兵員ハ其ノ師管

各聯隊區ヨリ徵集ス但要員ヲ充シ能ハサルトキハ他ノ聯隊區者クハ他ノ師管ヨリ
其ノ不足ヲ補充スルコトヲ得
警備隊ノ兵員ハ其ノ警備隊區ヨリ徵集ス
海軍兵員ハ各師管内沿海及島嶼ヲ包括スル聯隊區ヨリ徵集ス

第二章 徵兵官

第五條 徵兵官ハ總理徵兵官、師管徵兵官、聯隊區徵兵官、警備隊區徵兵官及聯隊區聯
合徵兵署徵兵官トス

第六條 總理徵兵官ハ內務大臣及陸軍大臣ヲ以テ之ニ充テ全國徵兵ノ事ヲ統轄ス

第七條 師管徵兵官ハ師管内府縣毎ニ師團長及府縣知事ヲ以テ之ニ充テ師團長ヲ首
廳トシ其ノ管内府縣徵兵ノ事ヲ統轄ス

北海道ニ於テハ師團長及北海道廳長官ヲ以テ師管徵兵官ニ充テ師團長ヲ首坐トシ
其ノ管内徵兵ノ事ヲ統轄ス

第八條 聯隊區徵兵官ハ聯隊區内徵募區毎ニ聯隊區司令官及島司郡市長〔北海道ノ
區ニ在テハ區長〕ヲ以テ之ニ充テ警備隊區徵兵官ハ警備隊司令官及島司郡長ヲ以
テ之ニ充テ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヲ首坐トシ其ノ區内徵募事務ヲ執行ス
東京市、京都市、大坂市ニ於テハ檢査區毎ニ聯隊區司令官及區長ヲ以テ聯隊區徵
兵官ニ充テ聯隊區司令官ヲ首坐トシ抽籤事務ヲ除クノ外其ノ區内徵募事務ヲ執行
ス

第九條 聯隊區聯合徵兵署徵兵官ハ東京市、京都市、大坂市ニ於テ徵募區毎ニ聯隊
區司令官、市參事會員タルノ書記官及各區長ヲ以テ之ニ充テ聯隊區司令官ヲ首坐
トシ其ノ區内抽籤事務ヲ執行ス

第十條 第八條第九條ニ掲クル徵兵官ノ外聯隊區内徵募區〔東京市、京都市、大坂市
ニ在テハ檢査區〕毎ニ聯隊區徵兵參事員警備隊區内徵募區毎ニ警備隊區徵兵參事
員ヲ置ク

第十一條 聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ハ徵兵令第二十二條ニ當ル徵

集延期及徵集免除並ニ明治二十八年勅令第二百二十六號第二條ノ徵集猶豫ニ關スル
事件ヲ審議シ意見ヲ徵兵官ニ具申スルヲ任トス但徵兵官ノ裁決ニ付可否ヲ議スル
ノ權ナキモノトス

第十二條 聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ハ郡市名譽職參事會員ヲ以テ
之ニ充ツ但市ニ於テハ其ノ市名譽職參事會員ニ於テ四名ヲ互選シ之ヲ定ム
東京市、京都市、大坂市ノ區ノ聯隊區徵兵參事員ハ市會ニ於テ其ノ區内ニ住スル
市公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ四名ヲ選舉シ之ヲ定ム其ノ任期ハ市會議員ノ例ニ
依ル

島廳ヲ置ク島嶼ノ聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ハ島司ニ於テ各町村
會議員中ヨリ四名ヲ選ヒ府縣知事ノ認可ヲ得テ之ヲ命ス其ノ任期ハ町村會議員ノ
任期ニ依ル

北海道ノ郡又ハ區ノ聯隊區徵兵參事員ハ徵募區毎ニ四名トシ北海道廳長官之ヲ命
ス其ノ任期等ハ北海道廳長官ノ定ムル所ニ依ル

第十三條 毎年徵募事務執行中ハ師管徵兵醫官及聯隊區徵兵醫官又ハ警備隊區徵兵
醫官ヲ置ク

師管徵兵醫官ハ師管内徵兵身體檢査ニ係ル事ヲ總管シ聯隊區徵兵醫官又ハ警備隊
區徵兵醫官ハ徵兵身體ノ檢査ニ從事ス

第十四條 師管徵兵醫官ハ師團軍醫部長ヲ以テ之ニ充テ聯隊區徵兵醫官又ハ警備隊區徵兵醫官ハ聯隊區司令部又ハ警備隊司令部附軍醫一名ヲ以テ之ニ充ツルヲ例トス

第十五條 毎年徵募事務執行中ハ聯隊區徵兵署、警備隊區徵兵署及聯隊區聯合徵兵署ニ事務員ヲ置キ該徵兵署ノ庶務ニ從事セシム

第十六條 聯隊區徵兵署事務員又ハ警備隊區徵兵署事務員ハ聯隊區書記又ハ警備隊書記二名及島廳郡市書記〔東京市、京都市、大阪市及北海道ノ區ニ在テハ區書記〕二名若クハ三名ヲ以テ之ニ充ツ

聯隊區聯合徵兵署事務員ハ聯隊區書記二名府屬二名及各區書記二名若クハ三名ヲ以テ之ニ充ツ

第十七條 毎年徵募事務執行中ハ地方醫師若干名ヲ以テ徵兵醫官補助員トシ北海道廳長官府縣知事之ヲ命ス

徵兵醫官補助員ハ徵兵醫官ノ指揮ヲ受ケ身體検査ノ事ヲ補助ス

第三章 配賦

第十八條 毎年徵集スヘキ現役兵及補充員ノ員數ハ上裁ヲ經テ陸軍大臣之ヲ各師管ニ配賦ス

第十九條 師團長ハ第十八條ニ依リ現役兵補充兵ノ受員ヲ各聯隊區又ハ警備隊區ニ

聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ之ヲ各徵募區ニ配賦ス

第二十條 現役兵及補充兵配賦ハ壯丁ノ總數ヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ定ム

第四章 徵募

第二十一條 町村長〔町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ戸長以下同シ〕ハ毎年戶籍簿ニ據リ徵兵適齡者ヲ取調ヘ徵兵令第二十五條ノ屆書ニ照校シ壯丁名簿ヲ作り二月十五日迄ニ島司又ハ郡長ニ差出シ島司郡長ハ點檢ノ後之ヲ一徵募區ニ取纏メ前年假決ノ諸名簿ト共ニ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ提出スヘシ

市長〔東京市、京都市、大阪市及北海道ノ區ニ在テハ區長以下同シ〕ハ前項ノ例ニ依リ壯丁名簿ヲ作り前年假決ノ諸名簿ト共ニ之ヲ聯隊區徵兵署ニ提出スヘシ

第二十二條 毎年徵募事務執行ノトキハ各徵募區及検査區ニ聯隊徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ヲ設ク但土地廣濶壯丁多數ノ徵募區ニ於テハ二箇以上ノ地ニ逐次開設スルコトヲ得

東京市、京都市、大阪市ニ於テハ抽籤執行ノ爲メ別ニ徵募區ニ聯隊區聯合徵兵署ヲ設ク

第二十三條 聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ島司郡市長ニ協議シ徵兵署開設ノ日割ヲ定メ聯隊區司令官警備隊司令官ハ師團長ニ島司郡市長ハ北海道廳長官府縣知事ニ申報スヘシ

聯隊區聯合徵兵署開設ノ日割ハ聯隊區司令官ヨリ府ノ書記官ニ協議シ之ヲ定メ聯隊區司令官ハ師團長ニ府ノ書記官ハ府知事ニ申報シ且府ノ書記官ハ徵兵署開設ノ日割及其ノ場所ヲ區長ニ達スヘシ

島司郡市長ハ検査抽籤ノ日時及徵兵署設置ノ場所ヲ豫メ聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ニ通知シ且其ノ管内ニ告示スヘシ

第二十四條 兵役ノ適否ヲ定ムル爲メ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ於テ壯丁ノ身體検査ヲ行フ其ノ検査ハ徵兵官及徵兵參事員ノ面前ニ於テスルモノトス

第二十五條 聯隊區司令官又ハ警備隊區司令官ハ壯丁身體検査ノ事ヲ監督シ兵種ノ撰定ニ任ス

第二十六條 島司郡市長ハ徵集延期及徵集猶豫ニ關スル書類ノ調査及事實ノ審覈ニ任ス

第二十七條 壯丁ノ身體検査終ルトキハ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ハ徵集延期、徵集猶豫、徵集免除及兵役免除ノ處分ヲ爲シ壯丁名簿ヲ以テ徵集名簿、徵集延期名簿、徵集猶豫名簿、徵集免除名簿及兵役免除名簿ヲ作ルヘシ

第二十八條 身體検査ニ合格シタル壯丁ハ徵集順序ヲ定ムル爲メ徵集區毎ニ體格ノ等位及兵種ヲ分チ聯隊、徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ於テ抽籤ヲ行フ但東京市、京都市、大阪市ニ於テハ聯隊區聯合徵兵署ニ於テ之ヲ行フ抽籤ハ徵兵官及徵兵參

事員ノ面前ニ於テ抽籤總代人ヲ爲スモノトス

抽籤總代人ハ徵集區又ハ検査區毎ニ籤丁ノ選ヲ以テ二名若クハ三名ヲ出スモノトス

第二十九條 前條ノ徵兵官ハ總代人ノ抽キタル籤番號ノ順序ニ依リ抽籤名簿ニ通テ作ルヘシ

第三十條 抽籤終ルトキハ抽籤名簿及徵集名簿ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官之ヲ領シ抽籤名簿、徵集延期名簿、徵集猶豫名簿、徵集免除名簿及兵役免除名簿ハ島司郡市長之ヲ領シ、島司郡市長ハ徵集區毎ニ籤丁ノ選ヲ以テ二名若クハ三名ヲ出スモノトス、但東京市、京都市、大阪市ニ於テハ市長ノ領スヘキ

第三十一條 各徵集區ノ抽籤終ルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ第十九條ノ配賦ニ基キ現役兵徵募及補充兵編入ノ處分ヲ爲シ又徵集名簿ヲ以テ現役兵名簿補充兵名簿及要員超過名簿ヲ作ルヘシ

第三十二條 聯隊區司令官又ハ警備隊區司令官ハ現役兵名簿ヲ各聯隊長〔聯隊ヲ爲ササル隊ニ在テハ其ノ隊長〕及海兵團長ニ交付シ且現役兵ニ徵募スヘキ者及補充兵ニ編入スヘキ者ノ順序ヲ島司郡市長ニ通知スヘシ但東京市、京都市、大阪市ニ在テハ府ノ書記官ニ通知スヘシ

抽籤名簿及補充兵名簿ハ之ヲ聯隊區司令部又ハ警備隊司令部ニ備置キ要員超過名簿ハ嶋司郡市長ニ交付シ島廳都市役所ニ備置クヘシ

第三十三條 第二十七條ノ處分ヲ爲シタル者ニハ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官

第三十一條ノ處分ヲ爲シタル者ニハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官各其ノ證書ヲ附與ス但徵集免除ノ者並ニ要員ニ超過シタル者ニハ證書ヲ附與セス

第三十四條 徵募事務終ルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ徵兵事務報告書

及徵兵表ヲ作り師團長ニ差出シ師團長ハ師管徵兵事務報告書及徵兵表ヲ作り陸軍大臣ニ差出シ陸軍大臣ハ全國徵兵表ヲ作り奏上スヘシ

第五章 裁決

第三十五條 裁決ハ分テ假決及終決ノ二種トス

第三十六條 假決ハ徵集延期及徵集猶豫ノ事ヲ裁決シ終決ハ現役兵徵募補充兵編入要員超過、徵集免除及兵役免除ノ事ヲ裁決ス

第三十七條 徵集延期、徵集猶豫、徵集免除及兵役免除ノ裁決ハ聯隊區徵兵官又ハ警

備隊區徵兵官之ヲ爲シ其ノ他ノ裁決ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官之ヲ爲ス

第三十八條 壯丁若クハ其ノ家族ニ於テ徵兵令第二十二條及明治二十八年勅令第二百二十六號第二條ニ關スル聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ノ裁決ニ不服アルトキハ師管徵兵官ニ師管徵兵官ノ裁決ニ不服アルトキハ總理徵兵官ニ訴願スルコトヲ

得但訴願ノ爲ニ裁決ノ執行ヲ停止セス

本條ノ訴願ハ裁決書ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ爲スヘシ其ノ期日ヲ過ク

第三十九條 徵兵官ノ裁決ニ對シ訴願ヲ爲サントスル者ハ其訴願書ニ同徵募區内其ノ年徵集ニ應スヘキ壯丁ノ戸主三名ノ保證書ヲ添ヘ其ノ裁決ヲ爲シタル徵兵官ヲ經由シテ差出スヘシ

第四十條 徵兵官第三十九條ノ訴願書ヲ受領シタルトキハ之ニ前裁決ニ關スル書類ヲ添ヘ上級ノ徵兵官ニ差出スヘシ

第四十一條 徵兵官ノ裁決ニ對シテハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ許サス

第六章 現役兵及補充兵

第四十二條 現役兵入營期日ハ毎年十二月一日トス但疾病犯罪其ノ他ノ事故ニ由リ十二月一日ニ入營シ難キ者ハ同月三十一日迄ニ入營セシム

警備隊諸兵ノ入營ハ二期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ十二月一日第二期ハ翌年六月一日トシ砲兵輸卒ノ入營ハ三期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ十二月一日第二期ハ翌年四月一日第三期ハ同年八月一日トシ輜重輸卒ノ入營ハ四期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ十二月一日第二期ハ翌年三月一日第三期ハ同年六月一日第四期ハ同年九月一日トス

仙臺、札幌、弘前、金澤ノ各衛戍地ニ於テハ砲兵輸卒ノ入營ハ二期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ翌年四月一日第二期ハ同年八月一日トシ輜重輸卒ノ入營ハ三期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ翌年三月一日第二期ハ同年六月一日第三期ハ同年九月一日トス

戰時若クハ事變ニ際シテハ第二期以下ノ入營期日ヲ變更スルコトヲ得

第四十三條 現役兵入營ノトキハ先ツ聯隊區司令部若クハ便宜ノ地ニ召集シ入營兵引率員之ヲ入營地ニ引率シ〔聯隊區司令部所在ノ入營地ニ在テハ聯隊區司令官ヨリ直ニ〕當該隊長ニ交付ス但入營兵五人未滿ナルトキハ直ニ入營地ニ單行セシム海軍現役兵ハ其集合地ニ引率シ入營兵受領員ニ交付スルモノトス但入營兵引率員出發後到着シタル者ハ直ニ入營地ニ單行セシム

第四十四條 現役兵入營ニ際シ父母ノ疾病危篤或ハ死亡ノ爲メ入營ノ延期ヲ願フ者アルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ十四日以内ノ延期ヲ許スヘシ其ノ延期ヲ願フ者ハ願書ニ市町村長ノ與書證印ヲ受ケ其ノ父母疾病危篤ノ者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添ヘ差出スヘシ

第四十五條 現役兵入營前ハ第四條ノ區域外ニ轉籍〔戶籍上本人ノ出入モ含有ス以下同シ〕スルモ所屬ノ隊籍ヲ變更セズ
徵兵令第二十七條ニ當リ翌年回ト爲リタル者ハ身體検査ヲ行ヒ更ニ隊籍ヲ定ムル

モノトス但第四條ノ區域外ニ轉籍シタル者ハ其ノ地ニ於テ身體検査ヲ行ヒ隊籍ヲ定ム

第四十六條 現役兵入營前死亡シ若クハ疾病犯罪其ノ他ノ事故ニ由リ十二月三十一日迄ニ入營シ難シト認メタル者又ハ入營ノ後翌年一月三十一日前ニ死亡シタル者若クハ一時服役ニ堪ヘサル者又ハ常備後備ノ服役及永久服役ニ堪ヘ難キ者アルトキハ其ノ其徵募區同兵種ノ第一補充兵若クハ海軍補充兵ヲ以テ抽籤番號ノ順序ニ從ヒ補充シ若シ其ノ徵募區ヨリ補充スルコト能ハサルトキハ聯隊區内他ノ徵募區ヨリ補充ス其ノ配賦ハ各徵募區補充兵ノ總數ヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ定ム但警備隊諸兵及砲兵輸卒、輜重輸卒ニシテ入營スヘキ月ノ二十日迄ニ本文ノ事故ヲ生シタルトキハ次期入營スヘキ者ヲ繰上ケ入營セシム其ノ最終期ニ在テハ前項ニ繰上ケタル缺員ト其ノ期ノ缺員ハ第一補充兵ヲ以テ補充ス

第四十七條 現役兵入營前癡疾又ハ不具ト爲リ永久兵役ニ堪ヘ難キ者アルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ兵役ヲ免ス但徵兵令第二十七條ニ當リ翌年回ト爲シタル者其ノ年徵兵事務終結前ハ此ノ限ニ在ラス

第四十八條 現役兵入營前徵兵令第二十二條ニ當ルヘキ事故ノ生ヌルトキハ本人ノ願ニ由リ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ徵集延期ス

其ノ願書ニハ同徵募區内其ノ年徵集ニ應スヘキ現役兵ノ戶主二名ノ保證書ヲ添ヘ

島司郡市長ヲ經テ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ差出スヘシ但町村ニ在テハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス

島司郡市長ハ其ノ事實ヲ審覆シ狀況書ヲ作り願書ト共ニ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ送付スヘシ

第四十九條 現役兵入營前補充兵〔補充兵證書附與後其ノ年十一月三十日以前ノ者以下同シ〕轉籍シタルトキハ十四日以内ニ島司郡市長ヲ經テ聯隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ届出ヘシ但町村ニ在テハ町村長ヲ經由スヘシ

其ノ轉籍聯隊區外又ハ警備隊區外ニ係ルトキハ舊住地聯隊司令官又ハ警備隊司令官ヨリ新住地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通報スヘシ

本條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下科料ニ處ス

第五十條 現役兵入營前及補充兵寄留若クハ十四日以上ノ旅行ヲ爲サントスルトキハ召集ノ命アル片之ヲ通報サスヘキ者ヲ定メ島司郡市長ヲ經テ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ届出スヘシ其ノ復歸シタル片亦届出ヘシ但町村ニ在テハ町村長ヲ經由スヘシ

本條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

通報人正當ノ事由ナクシテ召集ノ命ヲ通報セス若クハ其ノ通報ヲ遲緩シタルトキハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第七章 雜則

第五十一條 徵兵令第十二條ニ依リ現役ニ服センコトヲ志願スル者ハ其ノ願書ニ戶主或ハ後見人連署シ身元證書ヲ添ヘ市町村長ノ與書證印ヲ受ケ九月一日以前自己ノ服役セント欲スル軍隊又ハ海兵團ニ願出テ許可ヲ受クヘシ但軍隊又ハ海兵團遠隔ノ地ニ居住ノ者ハ徵兵檢査ノ際聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ申立テ身體檢査ヲ受ケ合格ノ者ハ合格證書ヲ添ヘ願出ルコトヲ得檢査ノ爲メ往復ノ旅費及入營旅費ハ自辨トス

第五十二條 第五十一條ニ依リ服役ノ許可ヲ受ケタル者ハ入營前本籍地ノ市町村長ニ届出ヘシ

第五十三條 他ノ徵募區ニ寄留シ其ノ地ニ於テ身體檢査ヲ受ケンコトヲ冀望スル者ハ三月一日迄ニ本籍地ノ島司郡市長ニ願出ヘシ

島司郡市長ニ差出ス願書ニハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス

島司郡市長其ノ願ヲ許可シタルトキハ之ヲ本人寄留地ノ島司郡市長ニ通知スヘシ本條ノ願出已ムヲ得ザル事故ノ爲メ三月一日ヲ過クルモノハ島司郡市長ヨリ本人寄留地ノ島司郡市長ニ協議シ徵募上故障ナキモノニ限り許可スヘシ

第五十四條 徵兵令等二十二條ニ當ル者ハ同徵募區内其ノ年ノ徵集ニ應スヘキ壯丁ノ戶主二名ノ保證書ヲ添ヘ三月一日迄ニ〔三月一日後抽籤迄ニ事故ノ生シタル者

ハ其ノ都度以下同シ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ願出ヘシ但其ノ事故二年以上繼續スル者ハ毎年願出テ其ノ三箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサル者ハ本文ノ保證書ヲ添ヘ届出ヘシ

前項ノ願書及届書ニハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス

第五十五條 徵兵令第二十三條第一項ニ當ル者ハ學校長ノ證明書同條第二項ニ當ル者ハ公使領事又ハ貿易事務官ノ證明書ヲ添ヘ三月一日迄ニ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ願出ヘシ

公使領事及貿易事務官ヲ置カサル國ニ在ル者ハ其ノ徵集猶豫願書ニ海外旅券ヲ受取リタル官廳ノ證明書ヲ添ヘ差出スヘシ

公使領事又ハ貿易事務官ヲ置キタル國ニ在ル者ト雖徵集猶豫願書ヲ差出ストキ未ダ公官廳ノ承認書ヲ添ヘ差出シ置キ追テ證明書ヲ差出スコトヲ得

本條ノ願書ニハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス

第五十六條 明治二十八年勅令第二十六號第二條ニ當ル者ハ其ノ移住ノ年月日及生業ノ狀況ヲ詳記シ毎年三月一日迄ニ聯隊區徵兵官ニ願出ヘシ

前項ノ願書ニハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス

第五十七條 徵兵令第二十三條第一項ノ事故止ミタル者ノ届書及同條第二項ノ歸朝

シタル者ノ届書ハ町村長ヨリ其ノ年ノ壯丁名簿進達前ニ在テハ其ノ名簿ト共ニ進達後ニ在テハ受領ノ日ヨリ三日以内ニ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ差出スヘシ

市長ハ前項ノ届書ヲ聯隊區徵兵署若クハ聯隊區聯合徵兵署開設ノトキ同署ニ提出スヘシ

第五十八條 疾病傷痕或ハ犯罪等ニテ身體検査ヲ受ケ難キ者及一年志願兵(年齢十九歳以下ノ者ヲ除ク)出願中ノ者ハ書面ヲ以テ検査當日迄ニ島司郡市長ニ届出ヘシ其ノ疾病傷痕ノ者ハ醫師ノ診斷書ヲ添フヘシ

島司郡長ニ差出ス届書ニハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス

本條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第五十九條 疾病傷痕或ハ犯罪等ニテ期限ニ際シ入營シ難キ者ハ書面ヲ以テ入營當日迄ニ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ届出ヘシ其ノ疾病傷痕ノ者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添フヘシ其ノ届書ニハ市町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス

本條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第六十條 徵兵署ノ諸費壯丁及抽籤總代人ノ旅費現役兵入營ノ旅費徵兵參事員ノ手當金、旅費、徵兵醫官補助員ノ給料、旅費ハ官給ス

第六十一條 第七師團ノ兵員ハ其ノ師管内徵兵令施行地ヨリ徵集ス但要員ヲ充シ能

ハサルトキハ他ノ師管ヨリ其ノ不足ヲ補充スルコトヲ得

第六十二條 島嶼ニ於テ本條例中ノ條規ヲ實施スルコト能ハサルトキハ師團長地方長官協議ノ上適宜ノ方法ヲ設クルコトヲ得

第六十三條 徵兵令ヲ執行セサル地ニ寄留ノ者ハ寄留地最寄ノ徵募區ニ於テ身體檢査ヲ受クルコトヲ得其ノ願出手續及取扱ハ第五十三條ノ例ニ準ス

第六十四條 徵兵令ヲ施行セサル地ヨリ施行ノ地ニ轉籍シタル者ハ其ノ年又ハ翌年ノ徵集ニ應セシム

但年齡二十六歳ヲ過キ轉籍シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

附 則

第六十五條 近衛師團ノ兵員ハ當分第二師管ヨリ徵集ス

第六十六條 聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ハ未タ郡制ヲ施行セサル郡ニ在テハ其ノ郡内ニ於テ四名ヲ選舉シ當舉ノ者ヲ以テ之ニ充ツ其ノ選舉人被選舉人資格、撰舉ノ方法及任期ハ總テ府縣會議員ノ例ニ依ル

第六十七條 本條例ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

●馬匹ノ調査及檢査

明治二十九年
四月六日

(法律第六十六號)

第一條 戰時若クハ事變ノ際軍馬ノ補給ヲ確實ナラシムル爲馬匹ノ調査及檢査ヲ行フ

第二條 馬匹ノ調査ハ島司、郡市町村長之ヲ行ヒ其ノ檢査ハ陸軍官憲之ヲ行フ但シ檢査ハ一年一回ヲ超ユルコトナシ

第三條 馬匹ノ所有者ハ馬匹ノ調査ニ必要ナル事項ヲ届出ヘシ

第四條 馬匹ノ所有者ハ指定ノ檢査場ニ於テ馬匹ノ檢査ヲ受クヘシ
馬匹ノ檢査ヲ受ケタル馬匹所有者ニハ手當及旅費ヲ給ス

第五條 徵兵令ニ依リ徵發ノ免除ヲ受クヘキ馬匹コハ此ノ法律ヲ適用セス

第六條 馬匹ノ調査及檢査ヲ行フヘキ區域、時期、馬匹ノ種類、第三條ノ届出事項及第四條ノ手當、旅費ノ金額ニ關スル規程並此ノ法律施行ノ爲必要ナル規程ハ陸軍大臣之ヲ定ム

附 則

第七條 東京市、京都市、大阪市ニ於テハ此ノ法律ニ規定シタル市長ノ職務ハ區長

之ヲ行フ

市制町村制ヲ施行セサル地方ニ於テハ此ノ法律ニ規定シタル市町村長ノ職務ハ區長戸長又ハ之ニ準スヘキ者之ヲ行フ

第八條 此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

第貳款

縣 郡 役 所 應
登 記 所
町 村 役 場
ニ 要 ス ル 諸 願 届 書 式

出產届

何郡何町村何番地族籍
何之誰何男
何年何月何日生
右頭書之通出生仕候間此段御届申候也
年 月 日 右 何 之 誰

入籍届

縣郡(町)(村)番地族籍
何之誰何男
何(町)(村)長氏名宛
何之誰何女(又ハ何々) 名

右私(妻)養子ニ(貰受)入籍候間此段御届申候也
何年何月何日生

右

町村番地
何之誰
年 月 日

(本人不在ナレハ親族ニ
人以上ヨリ届出ヘシ)

町村長宛

轉住入籍届

縣郡町村番地族籍

戸主氏名

何年何月何日生

妻 名

何年何月何日生

長男 名

何年何月何日生

右何町何番地(全戶轉住、分家、)復歸、分家別立、)致候間
此段御届申候也

年月日 右 何之誰
町村長宛

◎死亡届

何町番地族籍誰何男女
何年何月何日午前 第何時死亡 名
何年何月何日午後 第何時埋葬

右死亡候ニ付埋葬認許證御下附被下度醫
師(診斷)書相添此段御届申候也
(檢案)

年月日 右 何之誰
町村長宛

◎死亡届

縣郡町村番地(宿留) 還留
照郡町番地族籍何之誰何男女

何年何月何日午前 第何時死亡 名
何年何月何日午後 第何時埋葬

右之者死亡候ニ付何町何處共有墓地へ埋
葬致度候間埋葬認許證御下付被下度醫師
(診斷)書相添此段御届申候也
(檢案)

年月日 右 何之誰
何(町)(村)長宛

◎送籍届

町村番地族籍氏名何男女
年月日生 名

右之者何縣何郡(町)(村)番地族籍何某方
(妻縁女養) 遺シ候間此段御届申候也
(子相續人)

年月日 右 何之誰
町村長宛

(町)(村)番地 族籍氏名何男女 名

右復姓(改名)之義出願致候處月日御許可
相成候ニ付此段御届申候也

年月日 右 何之誰
町村長宛

◎(家督相續)(結婚)(離婚)届

(町)(村)番地族籍 氏名
戸主氏名長女(二女) 名

右之者(年月日)家出候儘于今歸宅不致候
ニ付失踪ト見認(年月日)失踪之處年月日
歸宅)候間此段御届申候也

町村長宛 何之誰

◎復姓(改名其)届

右、何年何月何日(家督相續)(誰ト結婚)
(妻離婚)致候間此段御届申候也

年月日 右 何之誰

(相續ノ片)前戸主
何之誰
町村長宛

◎附籍届

縣郡(町)(村)番地
族籍何之誰何男
女名

年月日生

右何町村何番地何之誰方へ附籍候間此段
御届申候也

右

年月日

何之誰

附籍主

何之誰

町村長宛

◎出寄留届

町番地族籍氏名(何男何女)
父兄弟名

右何年何月何日ヨリ縣郡町村番地何之誰
方へ寄留致候間此段御届申候也

右

年月日

何之誰

(家主)(地主)(管理者)
何之誰

町村長宛

◎入寄留届

縣郡町村番地族籍戸主氏名
父名幾男女

名

年月日生

右何年何月何日ヨリ何町村何番地(誰方)
(持家)(借家)(全戸)寄留致候間此段御届
申候也

年月日

何之誰

(家主)(地主)(某管理者)
何之誰

◎結婚入籍届

何郡何村大字何々番地
族氏名妻(婦)
(何男名妻)

名

右ハ何縣何郡何々町何番地族氏名何女ヲ
娶リ候ニ付入籍相成度此段御届申上候也
(以下出生届ニ全シ)

◎養子(女)入籍届

何郡何村大字何々番地
族氏名養子(女)

名

右ハ何縣何郡何村何番地族氏名何男女ヲ
貰受候間入籍相成度此段及御届候也
(以下全上)

◎離婚復籍届

何郡村何番地
族氏名何男
何女

名

◎流産届

何郡何村大字何々番地
族氏名妻名

流産

右者何縣何郡何村何番地族氏名夫(妻)離
婚復歸ニ付入籍相成度此段及御届候也
(以下全上)

埋葬地(死亡届ノ
例ニ依ル)

右何月何日流産致候間別紙醫証(産婆)流
産證相添此段及御届候也

明治年月日

氏名

町村長氏名殿

◎縁入夫妻
女送籍届

何郡何村大字何々番地
族氏名何弟姉妹

(亡)父名何男女

氏名

右者何縣何郡何村何番地族氏名入夫(妻)

縁女養子女)ニ差遣候間送籍相成度此段及御届候也 (以下全上)

④(入夫(妻)離婚)養子女(縁縁)送籍届
相續人縁縁

何郡何村何番地 族氏名 入夫妻 養子女相續人

右者何縣何郡何村大字何々番地族氏名方へ離婚(縁縁)復歸爲致候間送籍相成度此段御届候也 (以下出生届ニ全シ)

⑤退隠跡相續届

何郡何村何番地 族氏名 父氏名

右父名退隠長男相續致候間此段及御届候也

明治年月日

右 氏名 氏名

村長宛

⑥亡籍相續届

何郡何村何番地 族亡父氏名何男

右父名何月何日死亡ニ付親族協議ノ上何男名相續爲致候間此段及御届候也

明治年月日

親族亡父名 妻氏名 何郡何村何番地

親族續柄何々 氏名

⑦分家送籍届

何郡何村何番地 族氏名何(男女兄弟姊妹) (亡父名何男女)

右ハ何縣何郡何村何番地ニ分家爲致候間送籍相成度此段御届申上候也

右(戸主)

明治年月日

村長宛

何 某

⑧分家入籍届

何郡何村何番地 族氏名 妻氏名

名名

右ハ何縣何郡何村何番地族氏名何男(兄弟)分家致候ニ付入籍相成度比段及御届候也

明治年月日

村長宛

地主 氏名 氏名

⑨管内分家属

何郡何村何番地 族(亡)父名何男

右者本郡本村大字何番何族氏名兄弟分家致候間編籍相成度比段及御届候也

年月日

右戸主 氏名 氏名 (是分家地ノ地主ナリ)

村長宛

右地主 氏名

⑩離婚縁復歸ニ付携帶者入籍届

何郡何番地 族氏名孫(甥)(姪) (父)(母)名何男女

右ハ何縣何郡何村何番地族氏名(男女)ヲ(父母名)兄弟姊妹名(離婚縁縁)復歸ニ付携帶致候間入籍相成度比段及御届候也

(以下出生届ノ例ニ全シ)

⑪(入夫妻離婚)養子女(縁縁)ニ付携帶者送籍届

何郡何村何番地 族氏名何男女(孫) (養氏名何男女)

右者何縣何郡何村何番地族氏名方へ(離婚縁縁)復歸ニ付何名ヲ携帶爲致候間送籍相成度比段及御届候也

(以下出生届ノ例ニ全シ)

◎管内結婚届

何郡何村何番地
族氏名 妻 婦
入夫 入夫
何男名妻 名

右者本郡何村何番地族氏名(何女子娶リ)
(何男子貰受)候間戸籍加除相成度双方連
署此段及御届候也

年月日

村長氏名宛

◎管内(離婚)・(離縁)届

何郡何村何番地
族氏名(入夫、妻、養、嗣
子(何男女)縁女(婿) 名

右者本郡何村何番地族氏名方(離婚 離
縁)復歸爲致候間戸籍加除相成度双方連

署此段及届候也

年月日

村長氏宛

◎携帶者入籍届

何郡何村何番地
族氏名 入夫 名 何男
妻 名 何女

右者何縣何郡何村何番地族氏名
婚ニ付携帶致候間人籍相成度此段及御届
候也 (以下出生届ノ例ニ全シ)

◎轉住送籍届

何郡何村何番地
族氏名方全居
族

氏 父 母 妻 何
氏 父 母 妻 何
氏 父 母 妻 何
氏 父 母 妻 何

右者何縣何郡何番地へ轉住致候間送籍相
成度此段及御届候也

年月日

村長氏宛

◎管内縁組届

何郡何村何番地
族氏名 養子何女名婿
何男何縁女 名

右ハ本郡何村何番地族氏名何(男女)ヲ貰
受候間戸籍加除相成度双方連署此段及御
届候也

年月日

村長氏宛

◎管内轉住届

何郡何村何番地
族氏 父 母 妻 何
氏 父 母 妻 何
氏 父 母 妻 何
氏 父 母 妻 何

右者ハ本郡何村何番地ヨリ轉住致候間戸籍
加除相成度此段及御届候也

年月日

村長氏宛

◎失踪届

失踪全戸ナルトキハ親
戚ヨリ戸主ナルトキハ
家族親戚ヨリ届出ヘシ
何郡何村何番地
族氏名(何男兄弟) 名

右何月何日(家出ノ儘何旅行地へ何月何
日何地ヨリ音信ノ儘)所在不相分依テ失
踪ノ義ト存候間此段及御届候也

年月日

村長氏宛

右名何男
氏名

◎寄留者退去届

何郡何村何番地(借家、被雇)

寄留何縣族(氏名何男女)

氏名 妻名

右ハ何月何日退去致候間此段及御届候也

右

(地主、家主、雇主、地所家屋管理人)

年月日 氏名

村長宛

◎改名届

何郡何村何番地

族

改氏名 氏名

右何月何日願濟前書之通り改名致候間此段及御届候也

(以下出生届ノ例ニ全シ)

◎廢嫡届

何郡何村何番地

族氏名何男女

右者廢嫡ノ備何月何日願濟ニ付此段及御届候也

(以下出生届ノ例ニ全シ)

◎廢戸主届

何郡何村何番地

族

氏名

右何月何日廢戸主願濟ニ付此段及御届候也

氏名

年月日 何郡何村何番地

親族續柄何々 氏名

村長宛

◎私生子引受入籍届

何郡何村何番地

族氏名子

何年何月何日生 名

右何縣何郡何村何番地族氏名何女名私生何男、女ヲ實子ニ付引受ケ候間入籍相成度此段及御届候也

年月日 右 氏名

村長宛

◎後見人届

何郡何村大字番地 族

氏名

右氏名幼年(瘋癲)(白痴)ニ付親族協議ノ上何郡何村大字何々番地族氏名ヲ以テ後見人ト相定メ候ニ付此段及御届候也

郡村大字番地

親族續柄何々 氏名

明治年月日

親族續柄何々 氏名

右後見人 何 名

村長氏名殿

備考

一 全家族内ニ於テ實父ノ後見ヲ爲ス場合ニ於テハ親族ノ協議ヲ要セス
一 後見人變換届ハ(右氏名後見人某ヲ解除シ更ニ親族協議ノ上)ト記スヘシ次ニ元后見人ヲモ連署スル者ナリ
一 後見人解除届ハ(右氏名後見ノ處本月氏名丁年ニ至リ候ニ付後見解除致候間此段及御届候也)トシ被后見人及ヒ後見人共連署スヘシ

◎印鑑届(家族ノ内印鑑ハ戸主必ス連署スヘシ)

郡村大字番地

(印)印鑑 族 氏 名

右印鑑及御届候也

年月日 右 氏 名

村長氏名殿

紛失又ハ遺失ノ節ハ警
察署へ願濟ノ旨ニ連署
スヘシ

改印届

(印)印鑑 何郡村大字番地 族 氏 名

右ハ舊印欠損、紛失、焼失、磨滅、遺失、ニ
付印鑑ノ通り改刻致候間此段及御届候也

年月日 右 氏 名

村長氏名殿

改肉届

郡村大字番地 族 氏 名

右ハ黒肉ヲ朱肉ニ改メ候間此段及御届候
也

年月日 右 氏 名

村長氏名殿

代納人届

縣郡村大字何字何々何番

一 地目反別何程

所有者

(以下做之)

郡村大字番地

何之誰

郡村大字番地

何之誰

郡村大字番地

何之誰

郡村大字番地

何之誰

郡村大字番地

何之誰

郡村大字番地

何之誰

郡村大字番地

何之誰

郡村大字番地

何之誰

郡村大字番地

何之誰

郡村大字番地

何之誰

郡村大字番地

何之誰

郡村大字番地

何之誰

郡村大字番地

何之誰

郡村大字番地

何之誰

郡村大字番地

何之誰

郡村大字番地

何之誰

郡村大字番地

何之誰

郡村大字番地

何之誰

(兄)(弟)

何ノ誰

年月日生

右本年何月満二十歳ニ相成候ニ付此段御
届申上候也

(右戸主又ハ家族親族)

何ノ誰

明治年月日

何町村長姓名殿

徴兵異動御届

(用紙半紙)

町村大字番地住族籍職業

戸主又ハ何男(弟)

何ノ誰

年月日生

右私義明治何年徴兵ノ片何々ノ事故ヲ以
テ徴集延期(又ハ猶豫ニ相成居リ候處何年
何月何日該事故止ニ候間此段御届申上候
也

町村長宛

徴兵検査期日延届

(用紙半紙)
私義本年徴兵ニ有之來ル何月何日(又ハ
本日)身体受検査ノ爲メ(若クハ検査所

へ)出頭可仕御達相成候處(何月何日ヨリ
疾病ニ罹リ)又ハ何々罪ニヨリ常今在監
中ニ有之(又ハ一年志願兵出願中)ニ付
御指定ノ検査當日出頭仕兼候間別紙診斷
書(又ハ監獄若クハ警察署ノ證明書)相添
へ此段御届申上候也

年月日

郡市長宛

何町村長

何ノ誰

年月日

何町村長

何ノ誰

年月日

何町村長

何ノ誰

年月日

何町村長

何ノ誰

豫備後備下士兵卒歸休兵願届

一大隊區司令官宛ノ願届共監視區長ヲ經
テ差出スヘシ

一願届ノ書体ハ階行ニ限り又壹通タルヘ

一用紙ハ半紙一ツ折タルヘシ
一近衛師團豫備後備下士兵卒ニ在リテハ
願届書中年度兵種ノ上ニ近衛ノ四字ヲ冠
スヘシ

◎結婚願

何縣郡市町村大字番地
住族籍職業
何某女(姉)(妹)

年號月日生
年號月何年何ヶ月
某 儀

今般熟談ノ上右ニ記載ノ者ト(ハ入夫)(
ハ娯養子)結婚致度依テ別紙身元證書相
添へ指出候間御許可被下度此段奉願候也

縣郡市町村大字住

明治何年徵兵々種番號
何年豫備(後備)役何等卒
何大隊區司令官姓名殿

◎身元證書

何縣何郡村大字番地
住族籍職業何某何女

右ハ行狀端正ノ者ニ有之候間此段致保證
候也
年月日生
年月何年何ヶ月

何(縣)郡(市)町(村)
市(町)(村)長姓名

◎婚姻濟届

何縣郡村大字番地
住族籍職業何某何女

明治何年月日御許可相成候ニ付何年月日
(入夫)(娯養子)婚姻相整へ候間此段御届
申上候也
年號月日生
年號何年何ヶ月

縣郡村大字番地住

明治何年徵兵々種番號
何年豫備(後備)役何等卒
何 某

何々聯隊區司令官姓名殿

備考

豫備后備下士ニ在リテモ此書式ニ據ルヘ
シ

市町村長ヲ經テ届出ヘシ

◎離届

何縣國郡村大字番地住
住族籍職業
何某何女

年號月日生
某

右ハ何年月日婚姻濟ノ處今般双方示談ノ
上致離婚候間此段御届申候也

何縣郡村大字番地住
明治何年徵兵々種番號
何年豫備(后備)役何等卒
何 某
何々聯隊區司令官姓名殿
備考

豫備后備下士及ヒ飯休兵ニアリテモ此書
式ニ據ルヘシ

市町村長ヲ經テ届出ヘシ

◎勤務演習召集猶豫(簡閱點)呼(免除)願

某 儀

今般勤務演習召集(簡閱點呼)御達相成候
處何々候間今回ノ演習召集猶豫(簡閱點
呼免除)御許可被下度此段奉願候也

何縣郡村大字番地住
明治何年徵兵々種番號
何年豫備(后備)役何等卒
何 某

何々聯隊區司令官姓名殿

備考

一豫備后備下士ニ在リテモ此書式ニ據ル
ヘシ

一市町村長ノ與書調印ヲ要ス

◎寄留地簡閱點呼及ヒ召集願

某 儀

明治何年月何日迄何縣何郡村大字番地
何某方へ寄留中該地ニ於テ簡閱點呼及ヒ

同地ヨリ諸召集ニ應度候間此段奉願候也

縣郡村大字番地住

明治何年徵兵々種番號

何々大隊區司令官姓名殿 何 某

○備考 何々大隊區司令官姓名殿

一豫備後備下士ニ在リテモ此書式ニ據ル

一市町村長ヲ經テ監視區長ニ差出ヘシ

一本籍市町村長ノ與書證印ヲ要ス

一寄留地ヨリ應召ノ許可ヲ得タルトキハ

出發ニ先チ旅費受領人ヲ定メ豫メ委任狀

ヲ渡シ置キ其人ノ名ヲ大隊區司令官ヘ届出

ヘシ

◎旅費受領人届

某 儀

寄留地ヨリ召集ニ應スル事ヲ許可相成候

ニ付テハ其年限中召集ノ際出營旅費受領

人ハ何郡村大字番地住何某ヘ委任致置候

間此者ヘ御渡シ相成度此段御届申候也

縣郡村大字番地住

明治何年徵兵々種番號

何々大隊區司令官姓名殿 何 某

○備考 何々大隊區司令官姓名殿

一豫備后備下士ニ在テモ此書式ニ據ル

一市町村長ヲ經テ監視區長ニ差出ヘシ

◎勤務演習召集願

某 儀

明治年月日迄縣郡村大字番地何某方ヘ寄

留中同師管(同旅管)ニ於テ勤務演習召集

ニ應度候間此段奉願候也

縣郡村大字番地住

明治何年徵兵々種番號

何々大隊區司令官姓名殿 何 某

○備考 何々大隊區司令官姓名殿

一豫備后備下士ニ在リテモ此書式ニ據ル

ヘシ

一本籍市町村長ノ與書調印ヲ要ス
一師管外(歩兵ハ旅管外)ニ寄留ノ者ニ限

◎召集不參届

何 某

今般召集(簡閱點呼)御達相成候處目下疾

病ニ罹リ治療中ニ付召集ニ應シ難シ候間

別紙診斷書相添ヘテ段御届申上候也

何縣郡村大字番地住

明治何年徵兵々種番號

何々大隊區司令官姓名殿 何 某

○備考 何々大隊區司令官姓名殿

一豫備後備下士及ヒ飯休兵ニ在リテモ此

書式ニ依ルヘシ

一市町村長ノ與書調印ヲ要ス

◎診斷書

何縣郡村大字番地住

何年豫備(後備)役何等卒 何 某

右ハ天質強實或ハ何々ニシテ嘗テ病ニ罹

リシ事ナシ或ハ病ニ罹ル云々何年何月日

來何症ヲ發シ發來何々ノ症候(現症候ヲ

細密ニ記入スヘシ)アルヲ以テ何症ト診

斷シ何々劑ヲ與ヘ何々ノ法ヲ施シ已ニ何

週ヲ經セシ處何症増加スルニ由リ或ハ何

々症ヲ遺スニ由リ遂ニ危篤ニ陥ル者或ハ

所詮治スヘカラサル者或ハ爾后何ヶ月ヲ

終サレハ治療セサル者ト及診斷候也

何縣何郡何村大字番地住

何々大隊區司令官姓名殿 何 某

◎召集不參届

何縣郡村大字番地

明治何年徵兵々種番號

何々大隊區司令官姓名殿 何 某

○備考 何々大隊區司令官姓名殿

右之者今般召集(簡閱點呼)御達相成候處

何年月日ヨリ失踪(逃)ニ犯ルニヨリ處

同地ヨリ諸召集ニ應度候間此段奉願候也

縣郡村大字番地住

明治何年徴兵々種番號

何々大隊區司令官姓名殿

年月日

○備考 何々大隊區司令官姓名殿

一豫備後備下士ニ在リテモ此書式ニ據ル

一本籍市町村長ノ奥書證明ヲ要ス

一寄留地ヨリ應召ノ許可ヲ得タルトキハ

出發ニ先チ旅費受領人ヲ定メ豫メ委任狀

ヲ渡シ置キ其人名ヲ大隊區司令官ヘ届出

ヘシ

◎旅費受領人届

某 儀

寄留地ヨリ召集ニ應スル事ヲ許可相成候

ニ付テハ其年限中召集ノ際出營旅費受領

人ハ何郡村大字番地住何某ヘ委任致置候

間此者ヘ御渡シ相成度此段御届申候也

縣郡村大字番地住

明治何年徴兵々種番號

何々大隊區司令官姓名殿

年月日

○備考 何々大隊區司令官姓名殿

一豫備后備下士ニ在テモ此書式ニ據ル

一市町村長ヲ經テ監視區長ニ差出ヘシ

◎勤務演習召集願

某 儀

明治年月日迄縣郡村大字番地何某方ヘ寄

留中同師管(同旅管)ニ於テ勤務演習召集

ニ應度候間此段奉願候也

縣郡村大字番地住

明治何年徴兵々種番號

何々大隊區司令官姓名殿

年月日

○備考 何々大隊區司令官姓名殿

一豫備后備下士ニ在リテモ此書式ニ據ル

ヘシ

一本籍市町村長ノ奥書證明ヲ要ス
一師管外(歩兵ハ旅管外)ニ寄留ノ者ニ限

◎召集不参届

某

今般召集(簡閱點呼)御達相成候處目下疾
病ニ罹リ治療中ニ付召集ニ應シ難ク候間
別紙診斷書相添ヘテ段御届申上候也

何縣郡村大字番地住

明治何年徴兵々種番號

何々大隊區司令官姓名殿

年月日

○備考 何縣監視區長姓名殿

一豫備後備下士及ヒ飯休兵ニ在リテモ此

書式ニ依ルヘシ

一市町村長ノ奥書證明ヲ要ス

◎診斷書

何縣郡村大字番地住

何年豫備(後備)役何等卒

某

右ハ天質強實或ハ何々コシテ嘗テ病ニ罹

リシ事ナシ或ハ病ニ罹ル云々何年何月日

來何症ヲ發シ發來何々ノ症候(現症候ヲ

細密ニ記入スヘシ)アルヲ以テ何症ト診

斷シ何々劑ヲ與ヘ何々ノ法ヲ施シ已ニ何

週ヲ經セシ處何症増加スルニ由リ或ハ何

々症ヲ遺スニ由リ遂ニ危篤ニ陥ル者或ハ

所詮治スヘカラサル者或ハ爾后何ヶ月ヲ

終サレハ治療セサル者ト及診斷候也

何縣何郡何村大字番地住

內務省醫術開業免狀所持醫

年月日

◎招集不参届

何縣郡村大字番地

明治何年徴兵々種番號

何年豫備(後備)役何等卒

何

右之者今般招集(簡閱點呼)御達相成候處
何年月日ヨリ失踪(逃)ニ犯ルニヨリ處

刑中)ニ付招集ニ應シ難ク警察署證明書
相添へ此段御届申上候也

何縣郡村大字番地住

戸主(本人戸主ナ
レハ其親族)

年月日

何監視區長姓名殿

○備考

- 一 證明ハ警察ナキ地ニ在テハ警察分署若クハ巡查駐在所ノ證明書ヲ添附スヘシ然ルトキハ文中警察署アルヲ訂正スヘシ
- 一 豫備後備下士及飯休兵ニ在テモ此書式ニ據ルヘシ
- 一 市町村長ノ與書調印ヲ要ス

◎歸郷届

何隊ニ於テ服役罷在候處何月何日現役満期(願)(病)ニヨリ現役免除(何飯休)被申付何月何日飯宅致候間此段御届申候也
何縣郡村大字番地住

明治何年徵兵々種番號

何年豫備(後備)何等卒

年月日

何監視區長姓名殿

○備考

- 一 豫備後備下士飯休兵ニ在ツテモ此書式ニ據ルヘシ
- 一 演習招集解散、寄留、旅行(逃亡)、失踪等ノ者飯宅セントキハ何隊以下被申付迄ヲ(演習招集應徵ノ處解散)(何府縣郡村大字某寄留(旅行)ノ處何年月日ヨリ失踪逃亡ノ處)ト記スヘシ
- 一 逃亡失踪ノ者飯宅セントキハ始末書ヲ添へ届ケ出ヘシ
- 一 市町村長ヲ經テ届出ヘシ

◎轉住 轉籍(養子、相續人)届

明治何年何月何日何縣郡村大字番地某養子(相續人)ニ相成候間新戸籍寫相添へ此

段御届申候也

縣郡村大字番地住

明治何年徵兵々種番號

年月日

何監視區長姓名殿

○備考

- 一 豫備後備下士及飯休兵ニ在テモ此書式ニ據ルヘシ
- 一 轉住轉籍分家ノ者ハ(其養子以下相成)迄ヲ削リ(全戸轉住)(轉籍)(分家)ト記スヘシ但シ轉住轉籍ハ戸籍寫ヲ要セス
- 一 市町村ヲ經テ届出ツヘシ

◎出産届

何月何日(弟)(妹)(何男)(何女)出生某ト命名致候間此段御届申候也
縣郡村大字番地住

明治何年徵兵々種番號

年月日

何年豫備(後備)役何等卒

何監視區長姓名殿

○備考

- 一 豫備後備下士及ヒ飯休兵ニ在テモ此書式ニ據ルヘシ
- 一 市町村長ヲ經テ届出ヘシ

◎死亡届

(某備)父母兄弟姉妹妻子(何某)何月何日死亡致候間此段御届申候也
縣郡村大字番地住

明治何年徵兵々種番號

年月日

何監視區長姓名殿

○備考

- 一 豫備後備下士飯休兵ニ在テモ此書式ニ據ルヘシ
- 一 市町村長ヲ經テ届出ヘシ

◎復籍届

何縣郡村某養子(智養子)相續人ノ處離縁何月何日縣郡村大字番地何某何男(兄弟)

ニ復籍致候間新戸籍寫相添へ此段御届申候也

縣郡町村大字番地住

明治何年徵兵々種番號

何年豫備(後備)役何等卒

年月日

何監視區長姓名殿

備考

一豫備後備下士及歸休兵ニ在テモ此書式ニヨルヘシ

一市町村長ヲ經テ届出ヘシ

◎寄留(旅行)届

何某

今般何々ノ爲メ何年何月何日ヨリ何年何

月何日マテ縣郡町村大字番地某方へ全戸(

單身)寄留(旅行)職候間何郡村大字番地

何某ヲ以テ通達人ニ相定メ此段御届申上

候也

縣郡村大字番地住

明治何年徵兵々種番號

何年豫備(後備)役何等卒

年月日 何某

何監視區長姓名殿

備考

一豫備後備下士及歸休兵ニ在テモ此書式ニヨルヘシ

一市町村長ヲ經テ届出テヘシ

◎届

何月何日縣郡村(村長助役)(何職員)ニ推

撰セラレ就職致候間此段御届申候也

縣郡村大字番地

明治何年徵兵々種番號

何年豫備(後備)役何等卒

年月日

何監視區長姓名殿

備考

一解職届ハ最初ノ月日ヲ除キ(致候間)ノ

三字ヲ(之處何月何日解職)ニ付ト記スヘ

シ

一豫備後備下士ニ在テモ此書式ニヨルヘ

一市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出ヘシ

◎死亡届

何縣何郡村大字番地住

明治何年徵兵兵種番號

何年豫備(后備)役何等卒

何某

右之者何々ニヨリ何月何日死亡致候間此

段御届申上候也

何縣郡村大字番地住

戸主(本人戸主ナレハ親族)

何某

何監視區長姓名殿

備考

一豫備后備下士及歸休兵ニ在テモ此書式ニ據ルヘシ

一市町村長ヲ經テ届出ツヘシ

◎逃亡(失踪)届

何縣郡村大字番地住

明治何年徵兵兵種番號

何年豫備(后備)役何等卒

何某

右之者何月何日家出ノ儘今ニ歸宅不致候

ニ付逃亡(失踪)ト見認候間此段御届申上候也

何縣郡村大字番地住

戸主(本人戸主ナレハ親族)

何某

何監視區長姓名殿

備考

一豫備後備下士及歸休兵ニ在テモ此書式ニ據ルヘシ

一市町村長ヲ經テ届出ツヘシ

◎處刑届

何縣郡村大字番地住

明治何年徵兵兵種番號

何年豫備(后備)役何等卒

何某

右之者何罰ヲ犯シ何月何日何裁判所ニ於

テ(何々刑名及ヒ刑期)ヲ記スヘシ(ニ處セ

ラレ候間此段御届申候也

何縣郡村大字番地

戸主(本人戸主ナレハ親族)

何某

年月日

何某

○地租何程
 元 庄畔反別何程 地主 何 某
 一田反別何程 内反別何程 丈量增
 地價何程 標準地 本番
 地租何程
 更正 田反別何程 地價何程
 地租何程 畑ノ畦畔モ之レニ準ス
 總計 (貳筆以上ニ涉ルトキハ此式) (ニ做ヒ總計ヲ付スヘシ)
 地目反別地 價地 租 摘 要
 右ハ今般畦畔新設本地減(廢除本地増)ニ付丈量野取圖相添へ御届仕候也
 年 月 日 右地主 何 某
 知事 宛
 ◎地目變換届

大字何々 何番 (字全筆變換ノ例) 郡 村
 ○元畑反別何程 地價何程
 一田反別何程 地主 何 某
 内反別何程 丈量增
 地價何程 何等甲(乙)丙
 地租何程 標準地 何等何田 反金何程
 何番 (分裂變換ノ例)
 ○畑反別何程 地價何程
 ○地價何程 地租何程
 何番ノ内一 据置地 何等何反金何程
 ○反別何程 地價何程
 ○地租何程 土地台帳首卷ニ掲ケル反金ヨリ地價地租ヲ算定ス
 ○地租何程

○殘畑反別何程

○地價何程 元反別地價地租ノ内ヨリ据置地ニ對スル分ヲ控据セシ額ヲ記載ス
 ○地租何程 何番ノ内二 地主 何 某
 一田反別何程 内反別何程 丈量增
 地價何程 何等何反別何程
 地租何程 標準地(何等何)田
 一何番(變換地ヲ分裂シ接續地合併ノ例) 字何
 ○畑何反步
 ○地價金何圓何錢 地 主 何 某
 ○地租金何圓何錢何厘 丈量增
 一田反別何反畝步 地價金何圓何錢
 内反別何畝步 地租金何圓何錢
 地租金何圓何錢

壹番ノ内壹 反別何畝何步三番田地へ合併分
 地價金何圓何錢 地租金何圓何厘 (何等乙) 反金何圓何錢何厘
 内 壹番ノ内貳 反別何畝何步何番田地へ合併ノ分
 内反別何畝步 丈量增
 地價金何圓何錢 地租金何圓何厘 (何等乙) 反金何圓何錢何厘
 標準地(何等乙)田
 何番 外 一反別何畝步 地 主 何 某
 地價金何圓何錢 地租金何圓何錢 (何等乙) 反金何圓何錢何厘

何番 字何 一田反別何畝步 持主 某		田反別何畝步 全 人	
地價金何圓何錢 地租金何圓何錢 (何第甲 反金何圓何錢何厘)		地價金何圓何錢何厘 地租金何錢何厘 壹番ノ内貳四番 (合併) 字何 田反別何反何畝步 地主 全 人	
更正 三番壹番ノ内壹 (合併) 字何 地主		地價金何圓何錢 地租金何圓何錢	
總計 (總計ノ部ヘハ全ク變換ニ對スル元地ノミヲ記載スヘシ○第 類地ヨリ 第二類地ヘ變換ノ分ハ別冊ニ取調總計式ハ之レニ準ス)			
增之部		減之部	
變換 地目反	別丈量 ○增 ○減	地價 地租	元地目反 別地價 地租
田			○堀揚畑
田			○畑
田			○宅地
計			○計

畑	○堀窪田
畑	○田
畑	○宅地
計	○計

(宅地モ之レニ做ヒ列記シ末尾ニ合計ヲ付スヘシ)
右者今般變換候ニ付類地相當ノ地價取調丈量野取圖相添へ御届仕候也

年月日 郡村右地主
何何 某某
縣知事宛
何何 某某
◎土地分裂(合併)届
大字何々 郡 村
何番 (分裂ノ例)
何字何々
○田反別何程
○外畦畔反別何程
○地價金何程 何等何反金何程

○地租金何程
何番ノ内一 (此分裂)
反別何程 地主 何 某
外畦畔反別何程
地價金何程
地租金何程
何番ノ内二
反別何程
外畦畔反別何程
地價金何程
地租金何程
内反別何程 分裂増

地價金何程
地租金何程
(合併ノ例)

何番
○畑反別何程
○地價何程
○地租何程
右合併
○何等何反金何程

何番
○畑反別何程
○地價金何程
○地租金何程
右合併
○何等何反金何程

何番何番
合併
何
某

地價金何程
地租金何程
何等何反金何程
合併
地價金何程
地租金何程

田	地目反別地價地租	地目反別地價地租
	増	減
	部	部

計

(畑以下之ニ做フ)

右分裂(合併)仕度候ニ付御認可被下度丈量野取圖相添此段御届仕候也
右地主

年 月 日
縣知事宛
何 某

◎丈量野取圖調製心得

一丈量野取圖ハ先ツ本地所屬ノ郡市町村名ヲ標記シ次ニ大字、番地、字、地目、反別(地目反別等ノ變更ニ係ルトキハ元地目反別トモ又殘地或ハ丈量上ヨリ生スル増減アルトキハ其反別トモ)及地主ノ氏名ヲ記載シ次ニ本地ノ形狀ヲ寫シテ各丈量シタル箇所及其間數坪數ヲ記入シ仍ホ隣地ノ地番地目及地付等級等ヲ附記スルモノトス 二凡ソ分裂ニ係ルトキハ圖中其

區別ヲ明カニシテ各要領(何地成又ハ据置地ノ類)ヲ記入スルモノトス
三實際ニ就キ前各項ノ要件ヲ欠カサル様調製スルヲ要ス

◎官有地拜借願

何國何郡何町村大字何字番
何地元反別若干
一實測又別若干
此拜借料一ケ年(一ケ月)金若干
但反金若干

何地元反別若干
一實測又別若干
此拜借料(一ケ年)(一ケ月)金若干
但反金若干
類地何程何等乙比較

合反別若干
此拜借料金若干
但反金若干

右地所何々用ノ爲メ書面ノ料金ヲ以テ拜借仕度御許可之上ハ御規則遵守可仕候ハ

勿論拜借料金期限通り上納可仕候依之實測地圖並ニ何々書類相添へ此段奉願候也

年 月 日
何縣何郡何村大字何番地
願人 何 何 何
保證人 何 何 何
全 某 某 某

縣知事氏名殿

前書願出候ニ付調印候也

年 月 日
年 月 日
(身元)町村長何之誰
(地元)町村長何之誰

◎官有森林原野拂下願

何國何郡何町村大字何字番
何地元反別若干
一實測反別若干
此拂下代金若干
但反金若干

右地所何々ノ爲メ(拂下)要スル事由ヲ記明スヘシ(書面)代金ヲ以テ御拂下被

成下度明治二十四年九月農商務省告示官有森林原野及產物特賣規程ヲ遵守シ此段奉願候也

(以下官有地拜借願書体ニ全シ)
◎立木竹拂下願

何國何郡何町村大字何番
何地内
一立木(竹)若干

此拂下代金若干 (種類長目通ノ寸尺異ナル毎ニ如此記スヘシ)

何木若干 (但シ長向間何 目通り)

此代金若干

(一)立竹若干

此拂下代金若干

何竹若干

此代金若干 (但シ何尺何寸廻リ)

右立木(竹)何々ノ爲メ(拂下ヲ要スル事由ヲ明記スヘシ(御拂下被成下度畧圖)地所ニ付帶シ出願スルモノハ之ヲ要セス)

相添ヘ(以下官有森林(原野)(拂下願ニ全シ)

◎生草拂下願

何國何郡何町村大字何字番
何地内
一生草若干 (駄敷又ハ束數ヲ掲クヘシ)

此拂下代金若干 (但シ一駄或ハ一魚鳥拂下モ之ニ準ス但シ魚ハ貫目ヲ以テシ鳥ハ羽數ヲ以テスヘシ)

右何々ノ爲メ(拂下ヲ要スル事由ヲ明記スヘシ)以下立木竹拂下願書式ニ準據スヘシ

◎官有原野豫約拂下願

何國何郡何町村大字何番

何地元反別若干

一實測反別若干

此拂下代金若干 但反金若干

何地元反別若干

一實測反別若干

此拂下代金若干 但反金若干

此地所開墾(牧畜)用ニ付事業成功ノ上前

記素地代價ヲ以テ御拂下被下度御許可ノ上ハ御規則遵守仕可ハ勿論豫定ノ通り事業成功可仕候依之專業方法書收支豫算書實測地圖成功豫定區畫圖木竹調書相添ヘ此段奉願候也

何國何郡何村大字番地

願人 何 某

全保證人 何 某

保證人 何 某

年月日

何縣知事氏名殿

本願ハ地元及ヒ身元役場町村長ノ與書調印ヲ要ス

◎地種組替願 (民有地第種ニ組換ノ例)

大字何々(何番)字何々 何郡何村

一田反別何程 地主 何 某

外何程 畦畔

(他ノ地目モ之ニ做ヘ列記スヘシ)

右ハ公立學校地(鄉村社地)(墳墓地)(用惡水路)(溜池)(堤塘)(井溝)(鐵道用地)(禁伐林)(公衆ノ用ニ供スル道路)ノ義出願何年何月何日御許可(命令)ニ付民有地第二種ニ組替相成度圖面相添ヘ此段相願候也

右

年月日

縣知事宛

◎凡例

一公立學校ハ本願書式文中(出願何年何月何日)(御許可命令)トアルヲ(校舍建築準備整ヒ候)トシ又敷地ノ區域取廣等ニ係ルモノハ其實事ヲ明記スヘシ

一用惡水路溜池堤塘井溝鐵道用地及ヒ公衆ノ用ニ供スル道路ハ工事着手ノ際本願手續ヲナスヘシ

一禁伐林ハ本願書式文中出願ノ二字ヲ除キ其命令ノ年月日ヲ記載スヘシ
 一用惡水路道路等ニシテ數筆ニ係ルモノハ其連且セル圖形ヲ一紙ニ調製シテ之ニ四圍接續ノ地目及ヒ地番ヲ記載スヘシ
 一壹筆ノ内幾部分ニ掛ルモノハ土地分裂届出認可後本願ノ手續ヲナスヘシ
 ◎民有地第一種ニ組替ノ例
 大字何々
 何番、字何々 何郡何村
 一公立學校地(鄉村社地)(地主)村持(溜池)(井溝)(何々) 反別何程
 又ハ
 右ハ何々(廢止スヘキ事故ヲ記載ス)ノ爲メ使用廢止ノ儀出願何年何月何日(御許可命令)ニ付田(畑)(何々)ニ變換仕度候間民有地第一種ニ組替相成度圖面相添ヘ此段相願候也

右(管理者)地主

年月日 市町村長何 某某
 縣知事宛 又ハ 何 某某

◎土地臺帳謄本下附願
 縣郡町村大字 縣郡町村大字番地
 番 字 所有者 何 之 誰
 (以下做之)
 右地所ニ對スル土地臺帳謄本御下付被成下度手数料相添ヘ此段奉願候也

年月日 右 何ノ誰
 縣知事宛

◎自家用料酒製造届
 縣郡町村大字番地 何ノ誰
 一濁酒何斗 汲水何斗
 此自米何斗
 燒酎何斗
 此酒糠何貫目
 右ハ明治何年度自家用料酒トシテ製造仕候依テ種目前石數見込相立此段御届仕候也

年月日 右 何ノ誰
 縣知事宛

◎自家用料酒廢造御届
 第一號
 一自家用料酒製造免許 何 之 誰
 右製造能在候處今般廢造仕候間鑑札相添ヘ此段御届候也

年月日 右 何ノ誰
 縣知事宛

◎賣藥請賣願
 縣郡町村大字番地 何 之 誰
 一明瞭丹 右營業人 何 之 誰
 一何々
 一何々
 右賣藥何方今般受賣仕度依テ別紙營業者免許ノ指令寫並約定書相添此段奉願候也

年月日 縣郡町村大字番地 誰
 縣知事宛 請賣願人

年月日 市町村長何 某某
 縣知事宛 又ハ 何 某某

◎耕作車御檢印願
 縣郡町村大字番地 何 之 誰
 一耕作車壹輛 郡町村大字番地 何 之 誰
 一耕作車ノ義ハ車稅則ヲ遵守シ農具及肥料ヲ自宅ヨリ耕地ヘ又耕地ヨリ諸作物農具等自宅ニ運搬スル外他ニ一切使用不仕候間免稅御檢印御打渡被成下度此段奉願候也

年月日 右 何ノ誰
 縣知事宛

◎荷積車御檢印願
 (人力車荷積馬車)
 縣郡町村大字番地 何 之 誰
 一荷積車(人力車)壹輛 何 之 誰
 右新調候ニ付御檢印御打渡被成下度此段奉願候也

年月日 右 何ノ誰
 縣知事宛

◎耕作車御檢印願
 縣郡町村大字番地 何 之 誰
 一耕作車壹輛 郡町村大字番地 何 之 誰
 一耕作車ノ義ハ車稅則ヲ遵守シ農具及肥料ヲ自宅ヨリ耕地ヘ又耕地ヨリ諸作物農具等自宅ニ運搬スル外他ニ一切使用不仕候間免稅御檢印御打渡被成下度此段奉願候也

年月日 右 何ノ誰
 縣知事宛

◎荷積車御檢印願
 (人力車荷積馬車)
 縣郡町村大字番地 何 之 誰
 一荷積車(人力車)壹輛 何 之 誰
 右新調候ニ付御檢印御打渡被成下度此段奉願候也

年月日 縣郡町村大字番地 誰
 縣知事宛 請賣願人

◎船舶御鑑札御下渡願

一浮漁船 何艘 縣郡町村大字番地 誰

右ハ新規合船仕候間御鑑札御下渡被成下
此段奉願候也

縣知事宛

◎解船解車御願

第何號 郡町村大字番地 何ノ誰

一浮漁船 (第何號) 荷積車 何ノ誰
右ハ今般(解船)仕候ニ付(御鑑札)相添此
段御届仕候也

縣知事宛

荷積馬車 (人力車) 讓受渡名 願
第何號 義更正 縣郡町村大字番地

一荷積馬車一輛 讓渡人何ノ誰

右荷積車讓受渡之義熟談相整へ候間名義
更正被成下度此段連署ヲ以テ奉願候也

縣知事宛

◎煙草營業願

一煙草製造 縣郡町村大字番地 營業場
一煙草仲買
一煙草小賣

右營業仕度候間免許鑑札御下渡被成下度
此段相願候也

縣知事某殿

◎煙草仕入 出賣 鑑札下附願

縣知事某殿 (製造營業ニハ證約狀ヲ添願出ヘシ)
縣郡町村大字番地

◎菓子仕入 出賣 鑑札御下渡願

一菓子仕入 出賣 鑑札 何枚 何ノ誰
此携帶人 何ノ誰

右御鑑札御下渡被成下度此段奉願候也

縣知事宛

◎菓子營業願

第一號書式 地方稅營業規則第ニ
寸法 堅貳尺五寸 横七寸
用材適宜

何々營業 郡市町村番地 姓名

(何々トハ營業稅雜種稅賦課ノ業目ヲ云)
何々營業 何々營業 何々營業

◎菓子營業願

一菓子 小賣 製造 縣郡町村大字番地 營業場
一菓子 卸賣
一菓子 製造

右營業仕度候間免許鑑札御下渡被成下度
此段相願候也

縣知事宛

◎菓子營業願

一煙草 仕入 出賣 鑑札 何枚 何ノ誰
此携帶人 何ノ誰

右鑑札御下渡被成下度此段奉願候也

縣知事宛

製造 仲買營業人何ノ誰
小賣 何枚 何ノ誰

◎菓子營業願

一菓子 小賣 製造 縣郡町村大字番地 營業場
一菓子 卸賣
一菓子 製造

右營業仕度候間免許鑑札御下渡被成下度
此段相願候也

縣知事宛

◎菓子營業願

一煙草 仕入 出賣 鑑札 何枚 何ノ誰
此携帶人 何ノ誰

右鑑札御下渡被成下度此段奉願候也

縣知事宛

◎菓子營業願

一菓子 小賣 製造 縣郡町村大字番地 營業場
一菓子 卸賣
一菓子 製造

(啟種營業ノ者ハ如斯)
列記スヘシ
(第二號書式)

●開業届

何郡何村大字何々番地
何々トハ酒類受卸小賣、卸小賣、仲買
商、米雜穀商、質屋古物商、芝居其他
興行料理店、旅人宿、飲食店、又ハ鍛
治職、大工職、左官等ノ業名ヲ云フ
但シ一ケ年間見積リ(商金高)高何又此
(資本金何程)(何斗絞幾柄)(弟子又ハ
雇人幾人使用)(廻幾個)(綿長幾間)(乘
組人員何人)(何々)
右ハ今般開業仕候候間此段御届仕候也

年月日
郡市長宛
(第三號書式)

●興行御届

何郡何村大字何々番地
一演劇(又ハ何々興行)何 某

但シ木戸錢(大人何錢)中錢何錢
右ハ來ル何月何日ヨリ願書ノ興行仕候間
此段御届申上候也

年月日
郡市長宛
(第四號)

●移轉廢業御届

何郡何村大字何番地
一何々
何々トハ卸小賣商又
ハ職工ノ業名ヲ云フ何 某
右ハ從來願書ノ營業仕居リ候處今回何々
(何々トハ轉居先ノ前名又ハ廢業ノ事故
ヲ云フ)轉居(廢業)候ニ付此段御届仕候
也

年月日
郡市長宛
(第五號)

●行商鑑札御下付願

一何々行商

何郡何村大字何々番地
營業人何 某
携帶人何 某
(何々トハ行商スヘキ種ヨリ云フ)

右ハ來ル何日ヨリ頭書ノ行商仕候間該鑑
札御下付被成下度此段奉願候也

年月日
郡市長宛
(第六號)

●鑑札書換(再渡願)

何郡何村大字何々番地
一何々免許鑑札 何 某
右頭書ノ御鑑札相受營業仕居候今回何々
(何々トハ改名轉居失却毀損等ノ事故ヲ
云フ)御書換(御渡)被成下度此段奉願候
也

年月日
郡市長宛

●質屋營業又ハ改名、代替、轉居ノ義御届

郡町村大字番地身分
何之誰

右ハ質屋營業又ハ(從來質屋營業罷在候
處今般嗣子某(家名相續仕)又ハ(某ト
改名)又ハ(何所ヨリ肩書ノ地ハ轉居營
業)仕度段何警察署へ出願候處別紙寫ノ
通り御許可相成候間此段御届申上候也

年月日
郡市長宛

●水車新設ノ義願

何郡何村大字何地内 郡村大字番地
番一地位反別 願人 何ノ誰
此内敷地何拾坪 据付ノ見込
但シ搗臼何個 (粉挽器械壹組又ハ何組)
右地内ニ水車新設仕度候ニ付隣地へ協議
ニ及ヒ候處聊力支障ノ筋無之候ニ付別紙
繪圖相添へ此段奉願候也

年月日

右

願人 何
 隣地主 何
 全保人 何
 全證人 何
 誰 誰 誰 誰

備考 郡長宛
 一本願ハ水利上最モ影響ヲ及ホス事件ニ付大字部内一同ヨリ異議ナシトノ上申書ヲ郡長ヘ捧呈スヘシ
 一町村長ノ奥書調印ヲ要ス

◎種穀料御給與願

郡町村大字番地
 一金何圓 何ノ誰
 一人員何人 男何人 十五才以上
 女何人 十五才以上
 一耕耘地反別 何程
 畑反別何程 但一反何歩ニ付何斗時
 此種麥何斗 但上
 此代金何程 但上
 一地方税金何程 何ノ誰

四十一

年月日

田反別何程 但一反歩ニ付何斗時
 此代金何程 但上
 一地方税金何程 何ノ誰
 一所有地反別 何程
 一地方税金何程 何程
 一所有地反別 何程

右ハ何月何日火災(或ハ水難)ニ罹リ種穀悉皆燒失シ播種差支難澁罷在候間前記之種穀料御給與被成下度保證人連署此段奉願候也

◎小屋掛料御給與願

縣郡町村大字番地
 一金何圓 何ノ誰
 一人員何人 男何人 十五才以上
 女何人 十五才以上
 一地方税金何程 何程
 一所有地反別 何程

右ハ何月何日火災ニ罹リ所有ノ家屋悉皆燒失シ雨露ヲ凌ク能ハス難澁罷在候間前記小屋掛料御給與被成下度保證人連署此段奉願候也

年月日

右

◎食料御給與願

縣郡町村大字番地
 一金何圓 何ノ誰
 一人員何人 男何人 十五才以上
 女何人 十五才以上
 一地方税金何程 何程
 一所有地反別何程 何程
 一地方税金何程 何程
 一所有地反別何程 何程

右ハ何月何日火災ニ罹リ家屋悉皆燒失シ目下凍餒ニ差迫リ取續ヘキ目途無之難澁罷在候間日數二十日間前記之食料御給與

被成下度保證人連署此段奉願候也

年月日

右

◎農具料御給與願

縣郡町村大字番地
 一金何圓 何ノ誰
 一人員何人 男何人 十五才以上
 女何人 十五才以上
 一地方税金何程 何程
 一所有地反別 何程
 一地方税金何程 何程
 一所有地反別 何程

右ハ何月何日火災ニ罹リ農具以下做之ノ農具料御給與被成下度保證人連署此段奉願候也

四十一

一耕耘地反別

何程

小作反別

右ハ何月何日火災ニ罷リ農具悉皆焼失シ農事難相成難澁罷在候間前記ノ農具料御給與被成下度保證人連署此段奉願候也

年月日

右

何ノ誰

郡長宛

⑤入社申込書(用紙半紙)

責社報國恤兵ノ主義ニ協同入社致度候條宜シク御取斗ヘ有之度候也

年月日

何某

日本赤十字社御中

追テ本文入社ノ上ハ本社保額金トシテ壹ケ年金何圓ツツ出金可致候也

警察署及裁判所ニ要スル諸願届書式

⑥告訴狀

何縣市(郡町村)番地

告訴人 何某

何縣市(郡)町(村)番地

被告訴人 何某

(何々事件ノ告訴何々トハ罪名ヲ云)

事實

一何年何月何日被告訴人某ハ何々ノ場所ニ於テ某ニ向ヒ何々ノ兇行ヲナシタリ(若クハ何所ニ於テ加害者ハ何々ト言ヒ自分カ所持セシ棍棒ヲ強奪シ頭部及ヒ右肩胛骨中部ヲ乱打シタリ(凡テ加害ノ模様原因等詳記スヘシ)

證據

一右等ノ證據ハ犯罪ノ用ニ供シタル棍棒(或ハ何々等犯罪ノ用ニ供シタル物件アラハ各明示スヘシ)若クハ右ノ現場ヲ目撃シタル某々及ヒ兇行者ヲ引連レ去リシ某々ノ類)及ヒ別紙醫師診斷書ニ依リ護

據充分ナル者ト被存候

右等ノ事實ト證據トニ依リ刑事訴訟法第四十九條ニ依リ此段告訴仕候也

年月日

右

何某

何裁判所檢事(何警察署長)

官姓名殿

備考

一前項ノ被告アリシトキハ其現場ヨリ直接又ハ代人ヲシテ口述若クハ書面ニテ最寄リ巡查駐在所或ハ警察署ヘ申報スレハ現行犯トシテ取扱ヲナス故急速申報スル方得策ナリ何トナレハ現行犯ハ證據明白ニシテ殊ニ犯人モ現場ニ存在スル故ニ機ニ臨ミ變ニ應シ速カニ之ヲ逮捕スサルヘカラサルニ反シ多少ノ時間經過スレハ事既往ニ属シ非現行犯タルヲ以テ事實ヲ探シ然ル後犯罪ノ證據明白トナル時ヲ持ツテ之ヲ逮捕スヘキ等緩急ノ區別アリ但

シ取扱ハ緩急アルト雖モ刑罰ニ輕重ナシ看客行フ専門ノ書ニ縊テ参照アレヨ

⑦診斷書

何縣郡町村大字番地身分職業

何

年某

右ノ者何年何月何日何所ニ於テ診斷ヲ逐クル所何々傷何ヶ所(顛頂骨ノ縫合面ニ於テ長サ何寸深サ骨ニ達スルノ突傷何ヶ所)又ハ何所何部ニ於テ長サ何寸巾何寸刀傷壹ヶ所)而シテ患者ハ人事不肖ニシテ前後時ノ自覺ヲ開診スル能ハサルモ出血多量脈損沈靜体温高進加之何傷ハ致命傷ナルヲ以テ全愈期シ難キモノ(或ハ何週日引續キ治療セハ全癒スル者)ト及診斷候也

年月日

縣郡村大字番地

醫士 何

某

告發狀

何縣何郡何村番地身分職業
 告發人 何 某
 何縣郡村大字番地身分職業
 被告人 何 某
 右被告人何某ハ何々ノ規則ニ違背シ何罪ヲ犯シタルニ依リ左ノ事實ヲ摘記シ告發仕候
 一何年何月何日被告人某ハ何所ニ於テ何々ノ所爲ヲナシタリ又(ハ被告人某ハ狩獵規則第四條ニ違犯シ御獵場者クハ墓地公園、社寺、境内ニ於テ狩獵シタリ)ノ類等犯罪ノ原因模様等詳細明記スヘシ
 右等ノ事實ナルヲ以テ刑事訴訟法第五十三條ニ依リ及告發候也
 年月日 告發人 何 某
 何裁判所檢事(警警察署長) 官氏名殿

盜難申報書

縣郡町村大字番地身分職業
 何 某
 一金何圓
 內 壹圓紙幣何枚壹錢鋼貨何枚五錢白銅何枚等詳細記載スヘシ
 一絹 又ハ木綿等ノ男單衣物或ハ但シ何色何綿漸古其他袖口襟又ハ裏等ノ種類紋アレハ紋等詳細ニ記載スヘシ
 此代金何圓何拾錢
 一器物 何々
 但シ何々
 此代金 何個
 一米穀 此代金 何斗何升
 通計代金何拾圓
 右ハ何年何月何日用向有之家内一同何所某方へ罷越シ同日何時頃歸宅)或ハ何月何日何時頃家内一同寐臥翌朝起見レハ何々々(候處勝手口ノ錠ヲ捻切リ)或ハ玄關

ノ戸ヲ外シ何々々)開放シ有之ニ付不審ト存シ家内取調候處何々々入置タル前書ノ品々見當リ不申候間盜賊ノ所爲ト存シ候ニ付此段申報仕候也

強盜申報書

一金品目錄

縣郡町村大字番地
 何 某
 (盜難申報書ニ全シ)
 右ハ何年何月何日午後(午前)何時頃私宅へ面部ヲ何ニテ包ミ拔刀(或ハ出刀庖丁竹木棒何々ヲ携ヘタル男何何勝手口(或ハ表兩戸ヲ毀シ又ハ壁ヲ切り或ハ錠ヲ捻切リ)ヨリ押入私(或ハ妻子又ハ雇人來客等)ノ寐間ニ至リ聲立候ハ、可切殺ト申威シ何々ノ越ヲ申聞(其言舌何國言葉ト思料セシヲ認ムヘシ)家中ヲ搜シ何々々

入置タル前書ノ物品(或ハ金錢米穀等ノ類)ヲ奪去リ候間 若シ賊ノ棄置品アラハ其品相添フヘシ)別紙人相書相添ヘ此段申報仕候也

人相書

男或ハ女
 何年位
 何尺位
 太ク或ハ瘦セタル方
 丸キ或ハ長キ方
 青或ハ赤黒或ハ何々
 結髮或ハ散髮
 細ク或ハ尖キ何々
 細ク或ハ太ク何々
 高ク或ハ低シ
 大或ハ何々
 揃ヘタル或ハ何々
 前或ハ何々
 サヒレ或ハ高シ又ハ國ナマリ又ハ何々

一 疵所 有無 但シ有之片ハ 其ヶ所

一 痘痕 全上

一 着用衣類 色編柄其品ノ種類或ハ 性質ハ何々

一 特徴 有之 但シアル時ハ 其ヶ所

右之通りニ御座候也

●失火申報書
縣郡町村大字番地身分職業
一 居宅壹棟(或ハ何棟)燒失 何 某
但間口何間與行何間

一 類燒 何戸

右ハ何年何月何日午前(後)何時頃家内一 同寐臥居候處居宅何ノ方向ニ火聲相聞ハ 驚キ起出見タルニ家屋一圓火焰ニ相成リ (或ハ何所ヨリ何所へ燃へ移リ)候ニ付高 聲ニ呼立タルニ家内ノ者ハ勿論近隣ノ者 打寄り消防致シ候へ共遂ニ難消止前書ノ 通り燒失仕リ(或ハ消止)候依テ火災ノ原

因取調候處居宅ニ接シタル物置ヨリ(或ハ何ノ所へ)差置タル藁灰ヨリ發火致シ 候義ト被存候尤モ人畜死傷無御座(或ハ 何死傷有之)此段申報候也

年 月 日 右 何 某

何何警察署長
官氏名殿

備考
右ノ外各種ノ災害ニ罹ルル片モ此書式ニ倣フヘシ

宅地境界線ヲ引キ家屋ノ有形ヲ明記シ燒失ト半燒或ハ不燒等明細圖ヲ添付スヘシ

●旅人宿 又ハ下宿屋 木 賃 宿營業願
私義何郡何町村大字何々番地ニ於テ旅人 宿營業仕度候間御免許被成下度別紙建物 坪數及ヒ間取明細圖相添へ此段奉願候也

原籍寄留身分

年 月 日

姓

年 名 令

營業者未丁年ナルノキハ後見人連署スヘシ

警察署長宛

●飲食店營業願

何郡何村大字何々番地 身分職業 何 某 年 令

私義肩書ノ地ニ於テ飲食店營業致度候ニ 付御許可被成下度此段奉願候也

年 月 日 右

所轄警察署宛

●質屋營業又ハ取締鑑札

御書換御下附ノ儀願

郡町村大字番地身分 何 之 誰

右ハ質屋取締條例及ヒ本縣質屋取締細則 ヲ遵守シ質屋營業仕度候間願意御聞届質

年 月 日 右

警察署長姓名殿

何ノ 誰 何ノ 誰

●古物商營業願

一何々營業

郡村大字番地身分 何 某

兼業スル者ハ其種類ヲ列記スヘシ

右ハ古物商取締條例及本縣古物商取締細 則ヲ遵守シ前書ノ通り古物商營業仕度候 間願意御聞届ノ上取締鑑札御下渡被下度

此段奉願候也

右 年月日 何 某

警察署長姓名殿 取締 何 某

古物商行商ノ義願

郡村大字番地身分 何 某

一何々營業

右者私雇人ニ有之候處古物商取締條例及
ヒ本縣古物商取締細則ヲ遵守シ古物行商
致度候間取締鑑札御下渡被下度此段奉願
候也

年月日 郡村大字番地身分 右雇 主古物商何ノ某 取締何ノ某

警察署長姓名殿

演劇(其他何々)興行願

何郡何村大字番地身分 職業興行主或ハ興行總代

何 某 年 某

右者當大字部落風祭り(鎮守祭典)ノ爲メ

字何々何地ニ於テ(或ハ鎮守社内)本月何

日午前何時ヨリ午后何時迄放樂芝居(木

戸)興行仕度候間御許可被成下度別紙併

優鑑札寫シ及ヒ興行仕組書相添へ此段奉

願候也

年月日 右 何 某

所轄警察署長姓名殿

備考

一放樂芝居ノ如キハ免稅トス木戸興行ハ

其木戸錢高ニ依テ課稅ス所轄警察署ノ許

可ヲ得テ後都市役所へ開業届ヲナスヘシ

獵銃器買取ノ手續ハ第一號書式ノ如キ

賣渡人ヨリ賣渡證書ニ受取リ其寫シ及ヒ

第二號書式ノ如キ獵銃買取届ヲ地方長官

宛ニテ所轄警察署へ差出シニナレハ夫レ

ニテ買取手續ハ濟ムナリ何人ナリトモ他
ニ面倒ナル手續更ニナク買受能フ者ナリ
且ツ一人ニテ何挺ナリトモ買受得ルモノ
ナリ

●第一號書式ハ銃籍ニシテ從來ノ證トナ
ルヘキ者へ藏シ置クヘシ

●護身用拳銃買入ノ節ハ第三號以下ノ書
類ニテ所轄警察署(或ハ分署)へ出願スレ
ハ免許手形及ヒ彈藥買入證ヲ財產ノ有無
身分ノ高下ニ拘ラス誰人ヘモ直チニ下附
サル、モノユヘ右ノ許可證ニ通トモ銃砲
賣捌店へ差遣シ買受ルモノナリ

●彈藥ハ附屬ノ外餘分ニ入用ナルトキハ
火藥取締規則第十條ニヨリ一回五百
八彈藥ハ彈藥中最大ナルモノナレトモ
其火藥容量五百發ニテ百發内外ナリ
發マテハ許可ニナルナリ其以下ハ買取人
ノ隨意トス

●第四號書式彈藥買取願ニ火藥容量ヲ要
スル節ハ五十發ニ付貳拾發(一發四分)ノ
割合ヲ以テ記スヘシ

(第一號書式) 銃砲賣渡證 一何々國製何々獵銃 何 挺

名稱何々獵銃 右銃砲正ニ御賣渡申候也

年月日 何 某 殿 何縣何郡何村大字番地 銃砲火藥免許商何ノ誰

(第三號書式)

獵銃買取御届 一何々獵銃 何 挺

右ハ今般縣何郡何村何番地銃砲火藥免許
商何某ヨリ買取候間此段連署ヲ以テ及御
届候也

年月日 住所族籍 府(縣)知事何某殿 姓 名

但シ 東京府ハ警視總監北
海道ハ長官宛

(第三號)

銃砲買取願

一外國製ピストル銃 何挺

右ハ今般護身用ノ爲メ何縣何郡何村何番
地銃砲免許商何某ヨリ買取度候間何卒御
許可ノ上免許手形御下附被成下度此段奉
願上候也

年月日 住所族籍 姓名

縣知事何某殿

(第四號)

彈藥買取願

一外國製ピストル銃用彈藥 何發

右ハ今般護身用ノ爲メ何縣何市何番地火
藥免許商何某ヨリ買取度候間何卒御許可
被成下度此段奉願候也

住所族籍

年月日 姓名

何々警察署御中

狩獲免狀下付願

郡村大字番地

身分職業 何 某 年 令

一散彈銃 壹挺

或ハ 壹挺

一火繩銃 壹挺

但シ玉匁何匁

右銃砲ヲ以テ(乙種獵獵)乙種遊獵仕度候
付御許可被下度最モ狩獵規則第廿壹條
ノ御處分相受候事無之候間鑑札御下渡被
下度此段奉願候也

年月日 住所 姓名

縣知事何某殿

一本願ハ所轄警察署へ捧呈スルモノナリ
免許料金壹圓ハ願書へ登記印紙ヲ帖用納

付スヘシ散彈銃ハ玉匁ヲ要セス狩獵規則
第二十一條ノ處罰ヲ受ケタルトキハ其年
月日ヲ詳記スヘシ同條ノ處罰ヲ受ケタル
者ハ其效力ヲ失ス

銃砲讓與御願

何郡何村何平民何

讓與人 何 其

何郡何村何平民何

讓受人 何 某

一散彈銃(火繩銃)

(但シ玉匁何匁)

右讓與人某ニ於テ是迄所持致シ來リ候處
今般讓受ノ義約束相整ヘ本月何日讓受仕
候間此段以連署及御届候也

年月日 住所 姓名

縣知事宛

一此届書ハ所轄警察署へ捧呈シ銃籍ノ書

替テ求ムヘシ讓受渡ヲ締結シタル日ヨリ
十日以内ニ届出サルモノハ科料ニ處セラ
ル讓受渡人所轄警察署ヲ異ニスルトキハ
双方へ届出ヘ

威銃免許願

何郡何村大字番地身分

一和銃 何挺 何ノ誰

一洋銃 何挺 何ノ誰

右ハ私所有(小作)田或ハ畑地鳥獸ノ被害

不少ニ付何月ヨリ何月迄何ヶ月間威銃御

許可被成下度依テ別紙被害地反別及植物

鳥獸名調書並ニ圖面相添ヘ此段奉願候也

年月日 住所 姓名

被害地反別及植物鳥獸名調書

何郡何村大字何

番字 一田反別何反何畝歩

是ハ何月中旬中稔或ハ陸稻播種爾後何月間何々鳥獸害ヲ爲ス又ハ結實ノ候何月ヨリ收穫ノ候何月迄何々鳥獸害ヲ爲スノ類都テ植物及ヒ鳥獸名並ニ被害ノ季節等ヲ詳記スヘシ

何番字何
一林反別何町何反歩

是ハ何月中旬ヨリ天蚕飼育又ハ杉檜苗等播種以下同上

以下如斯一筆限リ記載スヘシ
右之通りニ候也

年月日 何 某

◎實地畧圖

南私林

東 何番

野原 田何反何畝歩

北官林

何々播種

田 西

南私林
東 何番
林何町歩
天蚕飼育
畑 西

此圖面ハ可成四隣ノ景況ヲ模寫スヘシ
遺失物御届

何郡何村大字何々番地
身分職業

一黒皮墓口 一ヶ

但シ紐付左ノ物件在中

壹圓紙幣何枚

貳拾錢銀貨何枚

何證 何通

右者何地某方へ用向有之候ニ付右墓口懷中ノ上明治何年何月何日何時頃ヨリ出頭中何地ニ於テ風ト懷中ヲ探リ見ルニ囊キニ懷中シタル墓口無之ニ付早速立戻リ搜索スルニ更ニ見當リ不申右ハ自宅ヨリ何

地ノ間ニ於テ遺失仕候モノニ御座候間此段御届申上候也

右

年月日 何 某

警察署長宛

◎紛失御届

何郡何村大字何々番地

身分職業

何 某

一實印 壹個

但シ水牛丸印ニシテ自分姓名彫刻

右ハ本年何月何日ノ内ナリキ何々用ノ爲メ使用候儘自宅勝手座敷單筒(又ハ何箱)ニ入レ置候處本日使用ニ際シ右ノ個所開キ見ルニ斗ラスモ右印影ハ現存セサルニ依リ若シモ他ニ入レ置キタルニハ非サルカト篤ト取調候へ共見當不申紛失候モノニ相違無之候間此段御届申上候也

右

年月日 何 某

警察署長宛

◎得遺物御届

何郡何村大字何々番地

身分職業

何 某

一黒皮墓口 壹個

但シ紐付左ノ物件在中

壹圓紙幣何枚

貳拾錢銀貨何枚

何證 何通

右ハ明治何年何月何日何地へ用向有之出頭ノ途次何村大地何々ト稱スル道路ノ片側ニ於テ發見拾得候ニ付現品相添へ此段及御届候也

年月日 何 某

警察署長宛

◎家出人搜索御願

何郡何村大字何々番地

身分職業

某ノ妻又ハ長男長女雇人ノ類

何 某

右ハ何年何月何日夜何時頃近隣某方へ用事有之候ニ付書狀ヲ持參爲致(又ハ入浴致サントテ罷出)候處全夜歸宅不致候故不審ト存シ心當リ今日迄相尋子候へ共見當リ不申就テハ失踪候儀ト被考候(又ハ本入ハ平常出京云々ノ事友人間ニ於テ相話シ居リ候哉ニ付同地方ニ徘徊スルヤトモ存知出京仕リ相尋子候へ共見當リ不申)本人人歸宅不致候テハ家政上困難ノ点不申サルノミナラス金錢取引上實ニ差支候間御搜索被下度別紙人相書相添へ此段奉願候也

年月日

警察署長宛

人相書

何郡何村大字何々職業

何 某

一身丈々何尺位 肉太リタル方 頭散髪又ハ結髪ニテ少シク白毛ヲ生ス 目耳口並 顔丸キ方痘痕少シアリ 色白キ方齒白ク又ハ染アリ 特徴左ノ足脛ニ何疵アリ

出立當時ノ着衣及ヒ所持品

一黃堅縞八丈裕、越後糸織蠶堅縞袴、博多黒無地帶、黒八丈丸コニツ柏ノ紋壹ツ付羽織、黒山高帽子、甲斐絹蝙蝠傘、龍頭卷金皮時計星印一八六五號 等各壹点金參百五拾參圓但シ壹圓五圓拾圓紙幣取集メ其他カハシ風呂敷等モ持參セシモノト思料ス 右之通り相違無之候也

◎人力車營業願

私義何郡何町村大字何々番地ニ於テ人力車營業仕度候間御免許被成下度身元保證金並ニ上納書相添へ此段奉願候也

年月日

原籍寄留身分

姓名

年齢

營業者未丁年ナルトキハ後見人連署ノ事

何組人力車營業取締

警察署長宛

◎身元保證金上納書

一金何圓

右ハ人力車營業仕度候ニ付身元保證金トシテ上納仕候也

年月日

族籍寄留身分

何組人力車營業取締

縣知事宛

◎人力車輓子届

右ハ規則第二十條第二十一條ニ抵觸セサル者ニ付私方輓子ニ相抱候間御鑑札御下附被成下度此段御届仕候也

年月日

何組人力車營業人

姓名

全上取締

姓名

警察署長宛

◎營業者

自ラ輓子トナルトキ鑑札届書式

私義人力車營業仕居候處規則第五條ニ從ヒ輓子稼業仕度候間御下附被成下度此段御届仕候也

年月日

肩書前ニ全シ

姓名

警察署長姓名殿

◎廢業届

私義人力車營業仕居候處今般廢業(又ハ廢車若クハ車ヲ賣渡シ讓渡シ)候ニ付免許證(車体檢査證)相添へ此段御届仕候也
肩書前ニ全シ

警察署長姓名殿
又ハ失踪
逃亡死去届

原籍寄留身分
姓名

右ハ私方轆子ニ相抱置候處何月何日解雇
(又ハ失踪逃亡死去)致候ニ付鑑札相添へ
此段御届仕候也

何組合人力車營業人
姓名
全上取締人
姓名
年月日

警察署長姓名殿
姓名
年月日

◎碑表建設願

郡市町村大字何々番地

身分 氏 名

右ハ祖父又ハ親戚若クハ舊友某何所何墓地ニ埋葬有之處今般該墓地へ(又ハ某ノ事蹟ヲ表スル爲メ墓地外何所へ)別紙碑表建設致シ度候間此段奉願候也

警察署長姓名殿
年月日 右 氏 名

前書之通り願出ニ付調査候處相違無之ニ付與書調印候也

村長 何 某

誌銘傳替等其碑表ニ刻スル全文ヲ表裏左右ニ別テ記載スヘシ

◎騎馬御届

何郡何村大字番地

一牡馬一頭 何 某

右者農馬(又ハ乘馬)トシテ蓄養致シ來リ

候處何日ヨリ發病ノ徵候ニ付治療差加へ居リ候處今何日何時斃馬候ニ付別紙獸醫ノ診斷書相添へ此段及御届候也

年月日 右 何 某

何警察署長官氏名殿

備考

埋沒若クハ燒棄解体前獸醫ノ診斷書ヲ添へ所轄警察署へ届出サルモノハ五貳錢以上壹圓九拾五錢以下ノ利料ニ處セラル但シ傳染病ハ同則ニ依ル

◎瘋癲人届

何郡何村大字何々番地
身分戸主同某(總柄)

何 某

年 令

右者何年何月頃ヨリ發狂之徵有之候ニ付種々治療差加へ來リ候處漸々全治ノ模様

相見へ候間益々施設仕候處昨今ニ至リ再發仕候間明治何年何月縣令甲第何號瘋癲人取締規則第何條ニヨリ別紙醫師診斷書相添へ最近ノ親戚以連署御届申上候也

年月日 (戸主) 何 某

親戚 何 某
親戚 何 某

所轄警察署長氏名殿

◎診斷書

何郡何町村大字何々番地

平民農某何男
何 某

年 令

右ハ後大性瘋癲症ニシテ其發作時ニ當テハ自他ノ危害ヲ來スナキヲ保シ難シ依テ豫メ之レカ適當ノ處置ヲ要スヘキ者ト及

診斷候也

何郡何村大字何番地

年月日

醫士 何 某

●變死人届

何郡何村何々番地

(身分(職業))

(戸主)何某何女

何 某

年 令

右何某儀ハ明治何年何月頃ヨリ發狂候ニ付爾來何郡村大字何々番地醫士何ノ誰ノ治療相受居候處目下農業繁多ノ秋ニ付看護ノ儀ハ妻某ニ申聞ケ自分ハ早朝ヨリ家族一同ト俱ニ大字何々字何ト稱スル田地ニ罷越シ耕耘シ居リ候處明治何年何月何日午后何時妻某何處ニ馳セ來リ實父母兄弟姉妹某儀自殺傷セシ旨申聞ルニ依リ直チニ歸宅候處某儀咽喉ニ突傷ヲ負ヒ身体

血ニ塗レ變死云々致居ルニ付直チニ抱キ上ケ疵口ハ有合セタル手拭ニテ括リ猶ホ介抱致シ居リ候處隣家某等馳セ來リ候ニ付不取敢同人ヲシテ御届申上候也

右

明治年月日

何 某

何警察署長殿

●檢案書

何郡何村何番地

族籍職業

何 某

年

一創傷壹ヶ所

但第三頸椎ノ部位ニ於テ

氣管食管及ヒ右側總

頸動脈ヲ切斷ス

右被命檢案何年何月何日何郡何村何番地何ノ某方ニ於テ檢案ヲ遂クル所傷所ハ前記ノ致命傷ニシテ看護人參考上ノ間診及

ヒ傷狀ヲ診査スルニ發狂ノ爲メ自殺シタルモノニ相違無之ト及檢案候也

何縣何郡何村大字何番地
醫士 何ノ誰

明治年月日午前八時始メ

何年何月何日午後九時終ル

何警察署長(何裁判所)

官氏名殿

●始末書

一自分儀何ノ誰妻ニ有之候處夫ノ實父母兄弟姉妹某儀何年何月何日ノ頃ヨリ發狂候ニ付爾來醫員某ノ治療相受居候處目下農業繁多ノ折柄故夫某儀ハ早朝ヨリ外家族ト俱々何所耕地ハ農業ニ罷越シ候ニ付自分一人ニテ某ヲ看護罷在候處午后何時頃ヨリ某儀無余念体ニ午睡致候間此際患者ノ汚穢物ヲ洗濯可致ト存シ郵約井戸端ニ至リ汚物ヲ洗濯致居候處某ノ音聲ニテ

怪シキ聞アルヲ聞キ付候間直チニ家内ニ至リ見ルニ某儀鎌ヲ以テ咽喉ヲ突キ身体

血塗レ倒レ居ルニ付不取敢鎌ヲ取揚ケ見

ルニ早ヤ既ニ呼吸云々ニ付直チニ夫某カ

農業致シ居ル場所ニ馳セ行キ右ノ始末相

報シ俱々飯宅介ニ盡力致居處隣家某等

馳ヒ付來リ吳レ候間不取敢右ノ始末同人

ヲシテ御署ヘ御届申上候處御檢視トシテ

御出張相成リ御取調ノ上某ノ自傷セシ鎌

ノ出所等御尋子ニ有之處夫某ヨリ申立候

如ク從來自宅ニ有合セタル鎌ニ相違無之

候右尋問ニ付始末有体申立候也

郡市町村大字番地

身分職業何某妻

年 月 日

檢視官姓名殿

●人殺傷申報書

縣郡村大字番地身分職業

五十九

右ハ何年何月何日午前(后)何時頃家族一同寐臥(或ハ夜業致シ居リ又ハ何々)候處何郡何村何某(或ハ何人トモ知レサル年令何才位ノ男一人又ハ何人)門戸ヲ押開ケ白刀ヲ携ヘ突然這入り來ルヤ否無言(或ハ何々ト申聞ケ)ニテ長女某ヲ或ハ女子雇人ヲ殺害シ(或ハ負傷セシメ)逃走候ニ付入相書相添ヘ此段申報仕候也

年月日 何 某
警察署長宛

人相書ハ強盜申報書ニ付帶セル書目ニ倣

◎民事訴訟書類ハ凡テ用紙美濃紙トス

◎貸金支拂命令申請書

縣郡町村番地身分職業
債權者 氏 名
縣郡町村番地身分職業
債務者 氏 名

印紙

一金何圓何拾錢 元金
明治何年何月ヨリ何年何月マテ 利子
一金何拾錢 書記料金何錢 日當金何錢
内金何錢 書記料金何錢 日當金何錢
印紙料金何錢 手数料金何錢 送達費
合計金何圓也 支拂命令請求高
債務者ハ明治何年何月何日限り右金額ヲ辨償スヘキ處期日ニ至リ支拂ヲナササルニ依リ支拂命令ヲ發セラレ度候也

年月日 債權者 氏 名
何區裁判所

判事何某殿

一支拂命令申請人ニ於テ債務ヨリ異儀ノ申立アリタルトキハ左ノ式ニ倣ヒ名刺ニ訴訟物ニ相當スル訴訟印紙ヲ貼用シテ差出スヘシ

◎名刺式

民事第何部 何縣何郡村番地身分職業
年度(ハ)何號 原告 氏 名印

印紙

何縣何郡何町村番地 某
右訴訟代理人何 某
被告何縣何郡町村番地身分職業何某外何人ニ係ル何々ノ事由(訴ヲ起ス事由ヲ明ラカニ記ス例令ハ何年何月ニ金何圓ヲ貸與シ返濟期日ナル何年何月何日ヲ過キ返濟セサルノ類)ニ基キ何々(請求ノ目的物ヲ掲ケ例令ハ元利金何程ノ類)ヲ請求スル貸金事件ニ付年月日出頭

◎仮執行宣言申請書

貳拾錢 (債權者及債務者記載例)
支拂命令ニ全シ
請求金額
支拂命令申請書

印紙

一金何圓

一金何圓

仮執行申請費請求

内譯 何錢日當或ハ書犯料ノ類
合金何圓錢 何仮執行請求高

債務者ハ年月日送達ノ資金支拂命令ニ對シ相當ノ期日内ニ異議ノ申立ヲナサス亦タ辨濟セナササルニ依リ仮執行ノ宣言被成下度此段申請仕候也
年月日 何 某

何裁判所 判事某殿

備考

本願ハ支拂命令ヲ送達後裁判所ヨリ下付セラル執行命令ヲ添ヘ出願スヘシ

◎有体動産差押申請書
不動産仮處分申請書

原告被告記載ノ例ノ訟狀ニ全シ
原處分ノ物件

何郡何村大字何番字何々

一 地目反別 何程 持主 何 某

(以下做之)

右被告某ニ對シ何年何月何日賣渡シ全年
何月何日迄ニ金圓調達スルトキハ之レヲ
買戻シ得ルノ約ナルニ被告ハ該買戻シヲ
肯シヒサルニヨリ本日地所買戻ノ訴ヲ御
廳ヘ提起仕候ヘ共若シ該地ヲ公賣等被致
候テハ訴訟ノ目的ヲ失シ候ニ付(若クハ
債務者ハ他ノ負債ノ爲メ財産隠匿ノ模様
有之候間)本訴訟結了ニ至ル前記ノ地所
仮處分ノ御命令相成度(債務者所有ノ有
体動産差押ノ御命令相成度)此段申請仕
候也

年月日 右原告(若クハ) 代理人 何 某

何裁判所 判事何ノ誰殿
①強制競賣申立書

貳拾錢 印紙

(債權者及ヒ債務者記
載例支拂命令ニ全シ)

請求書金額

一金何圓 支拂命令申請高
一金何圓 仮執行申請費用
合計金何圓何錢 強制競賣費用
何郡何村大字何地内 請求高
字番一 地目反別何程 持主 何 某
若クハ

一何々(衣類器物何々ノ類)何点
右ハ債權者某ヨリ債務者某ヘ係ル貸金催
促ノ事件ニ對シ附屬單壹號證ノ如ク執行
命令書下付相成タルニ付至急競賣相成度
此段奉願候也

年月日 債權者 何 某
何裁判所 判事某殿

一備考 本文ハ三通ヲ要ス

②濟口届

何年 何縣郡町村大字番地
(印) 債權者 何 某
第何號 何縣郡町村大字番地
債務者 何 某

右者何々事件今般示談濟口相成候間差押
物件御解放相成度此段御届申候也

年月日 債權者 何 某

何區裁判所 執達吏氏名殿
③和解申立書

何郡村大字番地 何 某
申立人 何 某
何郡村大身番地 何 某
相手方 何 某

④養子送籍請求願 請求ノ目的
一本人族籍氏名年齢

右本人ノ送籍アラン事ヲ請求ス

右者何年何月何日何郡村大字番地何某ノ
媒介ヲ以テ申立人方ノ養子ニ貰受タルモ
未タ相手方ニ於テ送籍ナサハルニヨリ速
ニ送籍アランコトヲ請求仕候也

年月日 申立人 何 某
何區裁判所 判事某殿

⑤旅費(日當)(止宿料)請求書
一金何圓何錢 旅費(日當)(止宿料)

内譯 金何錢
右ハ何年何月何日證人トシテ出頭日當
一度分但シ一度金五拾錢
金何錢

右ハ醫師(鑑定人)(通辨人)(翻譯人)ト
シテ出頭日當一度分(此金高ハ裁判所
ニ於テ定ム

金何圓何錢

右ハ御呼出ニ付何年何月何日何縣何郡何町(村)大字何出發何日何郡何町村大字何所着里程何町一里ニ付金拾錢

金何錢
右ハ居村ヨリ何郡何町村大字何所逸里程八里外ニ付何月何日何處止宿一泊金五拾錢

右ハ某何々被告事件ニ付證人(參考人)トシテ出頭ノ旅費(日當)(止宿料)及請求候也

年月日

何縣郡町村大字番地
氏名

何區裁判所
判事氏名宛

此請求書ハ三通ヲ差出スヘシ

一法律ニヨリ止宿料ヲ給スル場合ハ日當ヲ給セス

代人願

何郡村大字番地

何 某

何郡村大字番地

右代人 何 某

右者被告何郡町村大字番地何ノ誰ヘ係ル何々(貸金)請求事件ニ付出廷可致ノ處何々ノ事故之有候間出廷致兼候ニ付右代人親族(若クハ雇人)何之誰ヲ以テ訴訟ニ關スル一切ノ件ヲ代理爲致度然ル上ハ令人ヨリ申立候事柄ハ後日ニ至リ決シテ異議申間敷候ニ付御認可被成下度別紙親族證明書相添へ此段以連署奉願候也

年月日

何 某

何裁判所

官氏名殿

親族證明願

何郡何村大字何々番地

身分職業

何ノ誰

右者私義何郡村大字番地何某ノ父(若クハ兄弟其續柄)ニ相違無之候ニ付御證明被成下度此段奉願候也

年月日

何ノ誰

市町村長氏名殿

委任狀

拙者義事故有之出廷成相難候ニ付何縣何郡何村大字何々番地何ノ誰ヲ以テ部理代人ト爲シ左ノ權限ノ事ヲ代爲理致候事

一何郡村大字番地何ノ誰ニ對シ年月日金何圓ヲ貸與シタルモ返済期日ヲ過キ償還セサルニヨリ何裁判所ニ出頭其貸金請求

ノ訴ヲ提起シ及ヒ該件ニ關シ和解或ハ金錢授受ヲ爲ス一切ノ件

右代理ノ委任狀依テ如件

何郡何村大字番地

年月日

何ノ誰

御請書

何郡村大字番地

何某代人

何ノ誰

右者私事原告某ヨリ被告何ノ誰ニ係ル何々事件ニ付(原告)某代人ノ儀御認可相成候ニ付テハ左ノ條項ニ違背不致候一貳人以上ヨリ二件以上ノ事柄ハ受任致サス候

一身分限リノ處分ヲ請フ事無之候
右正ニ御請申候也

右原告若クハ被告誰
年月日 代理人 何ノ誰

何裁判所官民名殿

◎訴狀

縣市(郡)町(村)番地身分職業
 原告 氏 名
 縣市(郡)町(村)番地身分職業
 右訴訟代理人氏 名
 縣市(郡)町(村)番地身分職業
 被告 氏 名

(裁判所ヨリ四里以外ナ
 ルトキハ距離幾里)

何々事件ノ訴
 請求ノ目的
 一何々(例令ハ元金何圓何錢)
 一何々(例令ハ利金何圓何錢)

請求ノ原因
 何々(例令ハ明治何年何月何日被告ニ金
 何圓ヲ貸興シ利子ハ百圓ニ付一ヶ月幾錢
 返濟期日ハ全年何月何日ト定メタリ然ル
 ニ被告ハ返濟期日ヲ經過スルモ義務ヲ果

サス

一定ノ申立

右ノ次第ナルヲ以テ被告ハ原告ニ對シ何
 々(例令ハ金何圓ヲ辨濟シ)且ツ訴訟入費
 ナ負擔スヘシトノ判決相成度候也

證據方法

一何々(例令貸金證書)
 付屬書類表示
 一訴訟代理ノ委任狀 壹通
 一法律上代理受權ノ證 壹通
 一證書ノ謄本若クハ抄本 幾通

年月日 原告若クハ 右
 訴訟代理人 氏 名
 何地方裁判所長(若クハ何區裁判所)
 判事某殿

◎控訴狀 (裁判所ヨリ八里以外ナ
 ルトキハ距離幾里ト明
 示スヘシ)

何縣何郡村大字何々番地
 身分職業
 控訴人 氏 名
 何縣何市町村番地
 身分職業
 右訴訟代理人氏 名
 何縣何郡村大字番地
 身分職業
 被控訴人氏 名

何々事件ノ控訴

判決ノ表示

何裁判所何部ニ於テ明治何年第何號何々
 事件ニ付何年何月何日何々トノ判決言渡
 アリ何年何月何日該判決ノ送達ヲ受タリ
 一定ノ申立

右判決ニ全部若クハ何々部分ヲ廢棄シ何
 々ト判決相成度候也

不服ノ程度及控訴ヲ爲ス旨ノ陳述

右裁判所ハ何々ノ事實ヲ何々ト誤認シ(一
 何々ノ訴訟手續又ハ何々ノ法則ニ違背シ
 一何々ト判決シタルハ不當ナリ依テ控訴

人ハ右何々ニ付テハ服從スルヲ得サルヲ
 以テ控訴ニ及ヒ候也(若シ不服ノ事項數
 多アルトキハ條項ヲ分子之ヲ記載スヘシ
 新事實(新ニ主張スル事實アルトキ)
 一何々

新證據方法(新ニ提出スル證據アル
 トキ)

一何々(證人何某ト記スルノ類)
 付屬書類ノ表示
 一訴訟代理ノ委任狀 一通
 一法律上代理受權ノ證 一通
 但本項ハ控訴ニ至リ法律上代理ノ變
 更アリタル場合
 一證書ニ謄本若クハ抄本 何通

年月日 控訴人(訴訟代理人)
 氏 名
 東京控訴院 何地方裁判所長)
 判事某殿

◎答辨書

(氏名記載ノ例) 控訴狀ニ同シ
何々控訴事件ノ答辨

一定ノ申立

控訴人ノ申立ハ其理由ナキヲ以テ控訴棄却相成度候也

新事實(新ニ主張スル事實)アルトキ

一何々

新證據方法(新ニ提出スル證據方法アルトキ)

一何々(附帶控訴ヲ提起スルトキハ控訴狀ノ例ニ準ス)

附屬書類ノ表示

一訴訟代理委任狀

一通

一法律上代理受權ノ證

一通

但シ本項ハ控訴ニ至リ法律上代理ノ變更アリタル場合

一證書ノ謄本若クハ抄本

何通

右 控訴人

(代理人)氏 名

東京控訴院民事第何部長

(若クハ何地方裁判所何部長)

判事某殿

◎上告狀

何市(郡)町(村)番地

身分職業

上告人 氏 名

(裁判所ヨリ九里以外) ナルトキハ距離何里

何縣何市何町何番地

右訴訟代理人氏 名

身分職業

被上告人氏 名

何々事件ノ上告

判決ノ表示

何裁判所何都ニ於テ明治何年(何)第何號何々事件ニ付何年何月何日何々ノ判決言渡アリ何年何月何日該判決ノ送達ヲ受ケタリ

一定ノ申立

右第二審判決ノ全部若クハ何々ノ部分ハ不服ナルニヨリ之ヲ破毀セラレン事ヲ請求ス

理由

第二審裁判所カ何々ト判決シタルハ何々ノ法則ヲ適用セス若クハ不當ニ通用セシ違法ノ判決ナリ(又該判決中何々ハ民事訴訟法第何條ノ規定ニ違背シタル違法ノ判決ナリ)又該判決中何々ハ何々ノ法律ニ違背シテ事實ヲ確定シ若クハ遺限シ若クハ提出シタリト看做シタル違法ノ判決ナリ(若シト告ノ理由數点アルトキハ條

項ヲ分チ之ヲ記載スヘシ) 右及上告候也

附屬書類ノ表示

一訴訟代理ノ委任狀

壹通

一法律上代理受權ノ證

壹通

(但シ本項ハ上告ニ至リ法律上代理ノ變更アリタル場合)

右

上告人(若クハ訴訟代理人

年月日 氏 名

東京控訴院長

判事某殿

◎答辨書

(氏名肩書記載方上告狀ニ同シ)

何々上告事件ノ答辨

一定ノ申立

本件上告ハ之ヲ棄却セラレン事ヲ請求ス

理由

何々(附帶上告ヲ提起スルトキハ上告狀ノ例ニ準ス)右及答辨候也

右

被上告人(若ハ訴訟代理人)

年月日

何 某

東京控訴院民事第何部長

判事某殿

登記ニ要スル諸願届書式

◎名刺

何郡何村大字何

地所登記簿閲覧願

此手數料金何錢

何郡何村大字番地

年月日

願人 何之誰

◎改印届

郡村大字番地

何ノ誰

印鑑

右ハ是迄使用致候印鑑欠損(磨滅)仕候間前印鑑ノ通り改刻本月何日ヨリ使用仕候ニ付此段御届申上候也

右

年月日

何ノ誰

郡村大字番地

保證人 何ノ 某

全上 何ノ 某

何區裁判所(何々出張所)

御中

備考

一本文ノ場合ニ於テハ保證人二名以上ノ連署ヲ要シ其保證人ハ必ス其登記役所ニ印鑑證查ヲ受ケ捧呈シアル者ニ限ル一新

彫刻ノ印鑑モ最初ノ印鑑ヲ届クルト同様身元役場ヨリ證查ヲ經タル際五寸ノ紙片ヲ添付スヘシ

◎名刺

郡村大字番地

(賣) 渡人何ノ誰

郡村大字番地

某

地所(賣買)登記願

此(賣買代)金何圓

此登記料金何圓

年月日

町村大字番地(買)受人 何之誰

郡村大字番地 右代人 何之誰

備考

一讓受渡人共本人ナルトキハ各自認印捧

呈スル者ナリ

一代人ナルトキハ此書式ニ依リ本人ノ調印ヲ要スス凡テ代人ノ認メ方同シ

一印鑑ハ身元役場ヨリ横一寸竪五寸(曲尺)ノアット紙ニ左ノ式ノ如ク證查ヲ乞ヒ所轄登記役所ヘ捧呈シ置ヘシ其后改印スルトキハ次頁改印届ノ書式ニ據ルヘシ

五寸

身元郡村大字番地

役場(印鑑) 何之誰

之印

寸

◎委任狀

拙者義地所賣買(讓與)登記請求事件ニ付郡村大字番地何ノ誰ヲ以テ部理代人ト相定メ左ノ權限ノ事ヲ代理爲致候事 國郡町大字地内

字一何反別何歩
 番一何反別何歩
 右地所國郡村大字番地何某へ(又ハ何某ヨリ)明治年月日金何圓ヲ以テ賣渡シ(讓渡シ)買受(讓受)候ニ付何區裁判所(何々出張所)ニ出頭其登記願ニ關スル一切ノ件

右代理ノ委任狀仍テ如件

郡村大字番地

年月日 何之誰

備考

一壹筆ノ地所ヲ二名以上ニテ共同賣買讓與ヲスルトキハ本文ノ始メ拙者義ヲ拙者共ト記載シ未文ノ氏名ヲ各自住所共明記スヘシ
 一出願ノ地所書入(質入)中ナルトキハ何反歩ノ左方ニ右地所ハ何郡何某へ書入中ト記載シ調印ヲ買受人又ハ讓受人ニ在リ

テハ書入アルコトヲ了知スト認メ調印スヘシ以上做之

◎地所賣渡(讓渡)證書

國郡村大字番地

持主

何 某

字一地目反別

每筆共列記スヘシ(右地所郡村某へ書入中承諾(買受人印))

此賣渡代金何圓也

右地所何筆代金何圓ニテ賣渡シ其代金正ニ受取申候(又ハ地所何筆無代價ニテ正ニ讓渡シ)後日ノ爲メ證書仍如件

年月日 町村大字番地

賣渡人 何ノ誰

何郡村大字番地

何ノ誰殿

備考

此賣買(讓渡)證書謄本ハ正本ノ通り謄寫

シ印紙ヲ賚用シタル個所ハ印紙ノ形式ニ畫シ何ノ誰殿ノ次ニ(右正本ニ依リ謄寫仕候也)ト認メ其次ニ賣買人双方ニテ署名押印スル者ナリ
 一凡テ登記願ノ謄本ハ右ノ如ク認ムヘシ
 質入書入ノ如キモ勿論其證書ヲ其儘謄寫シ本文ノ如ク認ムヘシ

◎名刺

郡村大字番地

負債主(質入主)何ノ誰

地所書入(質入)ニ付登記願

貸借金何圓

此登記料何圓

郡村大字番地

年月日 債主(質取主) 何ノ誰

◎委任狀

五厘印紙

拙者義地所書入(質入)登記請求事件ニ付何郡何村大字何番地何某ヲ以テ部理代人ト爲シ左ノ權限ノ事ヲ代理爲致候事
 國郡村大字地内
 字番地目反別何反歩

右地所(書入トシテ)何國何郡何村大字何

々番地何某方ヨリ(又ハ何某方へ)明治何年何月何日金何圓借受(又ハ貸與)若クハ質入質取ノ類候ニ付何々區裁判所(何々出張所)ニ出頭其登記願ニ關スル一切ノ件

右代理ノ委任狀仍テ如件

郡村大字番地

年月日 何ノ誰

備考

一連借人在ルトキ、地目反別ノ下ニ持主記入スヘシ(證書モ做之)

一初行目拙者ノ下ニ其ノ一字ヲ加フ
◎地所書入〔質入〕金圓借用證
一金何圓也 但年利何割何分

此入地左ノ如シ

國郡村大字番地
番一何反別何反步

印紙

右地所書入トシテ〔質入トシテ〕頭書之金
何百圓正ニ受取借用仕候處明確也御返金
ノ期限ハ來ル明治何年何月何日ト定メ右
利子ハ歲々年末ニ無相違濟方仕リ期限ニ
相成リ候ハ、元金及ヒ利子等聊カ無相違
皆濟可仕候若シ萬々一ニモ本人ニ於テ儀
務相盡シ兼候節ハ保證人ニ於テ悉皆引受
辨償仕リ貴殿ハ聊カ御損害相掛ケ不申候
爲後日證書如件

年月日 町村大字番地
借用人 何ノ誰

縣郡村 保證人 何ノ誰
何ノ誰殿

備考
一證書謄本作製方前葉買賣證書ノ書式ニ
依ル其他凡テ參照
一質入ハ地所質地證トシ双方ノ契約ノ締
結シタル條件ヲ記載スル者ナルハ勿論ナ
ルカ故ニ茲ニ其大要ヲ示セリ

◎名刺

郡村大字番地
負債主 何ノ誰

地所書入〔質入〕登記取消願
此手數料金五錢
年月日 郡村大字番地
債主 何ノ誰
備考

一本文取消願ハ其雙方本人出頭スレハ此
名刺ニ證書〔先ニ登記濟アル書〕證ノ表面
ニ〔表書ノ金額元利正ニ受取候也〕ト記シ
年號月日債權者ノ署名押印シタルモノ、
ニ證書ヲ捧呈スレハ可ナリ

◎委任狀

拙者義地所書入〔質入〕登記取消請求事件
ニ付何郡何村大字何番地何ノ誰ヲ以テ部
理代人ト相定メ左ノ權限ノ事ヲ代理爲致
候事

國郡村大字地内
番一地目反別

右地所〔書入〕質入トシテ郡村大字番地何
ノ誰方ハ〔若クハ何某方ヨリ〕明治年月日
金何圓貸與〔借用〕候處明治年月日元利ハ
質地ニ在リテハ元利ノ文字ヲ削除ス返
金濟ニ付何々區裁判所〔何々出張所〕ニ出

頭其登記取消願ニ關スル一切ノ件ヲ處辨
スル事
右代理ノ委任狀依テ如件

年月日 郡村大字番地
備考 何ノ誰

◎名刺

地所變更登記願
此手數料金五錢

年月日 何郡村大字番地
願人 何 某

◎委任狀

拙者義地所變更登記請求事件ニ付郡村大
字番地何某ヲ以テ部理代人ト相定メ左ノ

權限ノ事ヲ代理爲致候事

何縣何郡何村大字何々地内

○二千五百番 一畑八反七畝拾三步
○字何

二千五百番 一畑九反二畝拾五步
字何

内反別五畝貳步 丈量増

右地所私所有ニシテ既ニ朱書ノ通り登記
相成候處明治二十一年十月二十二日地押
調査上前書墨書ノ通り訂正相成候ニ付何
區裁判所何々出張所ニ出頭其變更願ニ關
スル一切ノ件ヲ處辨スル事
右代理ノ委任狀仍テ如件

何郡村大字番地

年月日

何 某

◎地所變更登記願

何國何郡村大字何々番地内

○二千五百番 一畑八反七畝拾三步
○字何

二千五百番 一畑九反二畝十步
字何

内反別五畝二步 丈量増

右地所私所有ニシテ既ニ朱書ノ通り登記
相成候處明治二十一年十月二十二日地押
調査上前書墨書ノ通り訂正相成候ニ付變
更ノ登記被成下度此段奉願候也

何郡村大字番地

年月日

何 某

何區裁判所

何々出張所御中

◎名刺

何郡何村大字何々番地

遺產人 亡 何ノ誰

地所 遺產相續ニ付登記願

此筆數何筆

此建物價格金何圓

此登記料金何圓

何郡村大字何番地ノ實父

何誰亡跡

年月日

相續人 何ノ誰

◎死亡及相續證明願

何郡何村大字何々番地

年月日死亡

亡 何ノ誰

年月日相續

相續人 何 某

右御證明被成下度奉願候也

年月日

右 何 某

村長氏名殿

◎委任狀

五厘印紙

拙者義遺產相續登記請求事件ニ付何郡何
村大字何々番地何某ヲ以テ部理代人ト爲
シ左ノ權限ノ事ヲ代理爲致候事
何縣村大字番地内

何番字何々

一何反別何步

外何筆

右地所建物何郡何村大字何々番地亡父何
ノ誰所有ノ處明治何年何月何日死亡候ニ
付全年全月何日私義遺跡相續隨テ前記ノ
地所相續致候間何々區裁判所何々出張所
ニ出頭其登記願ニ關スル一切ノ件
右代理ノ委任狀仍テ如件

何郡何村大字何々番地

年月日

何 某

◎遺產相續ニ付登記願

何郡何村大字何

何番 一地目反別何程

〔以下此式ニ依リ列記スヘシ〕

右地所建家何郡何村大字何々番地亡父何
之誰所有ノ處全人義ハ明治何年何月何日

死亡候ニ付親族協議ノ上今年全月何日私
義遺跡相續隨テ前記ノ地所致相續候間遺
産相續ノ登記被成下度親戚連署ヲ以テ此
段奉願候地

年月日 何縣何村大字何々番地
相續人 何ノ誰

何郡何村大字何々番地
亡何某從弟〔甥〕

何郡何村大字番地
亡何之誰從弟

何 某

何々區裁判所
(何々出張所)御中

◎名刺

何郡何村大字何々番地
讓渡人 何之誰

地所 家督相續ニ付登記願
建家

此筆數何筆
此建物價格金何程
此登記料金何圓

年月日 何郡何村大字何々番地
讓受人 何之誰

◎退隱跡相續證明願
何郡何村大字何々番地

何年何月何日相續 何 某
何年何月何日退隱 何 某

右御證明被成下度奉願候也

年月日 何 某
何 某

村長氏名殿

◎委任狀

拙者義家督相續登記請求事件ニ付何郡何
村大字何々番地何之誰ヲ以テ部理代人ト

爲シ左ノ權限ノ事ヲ代理爲致候事

何郡何村大字何地内
字何 一地目反何程
番 外何筆

右地所建物何郡何村大字何々番地何之誰
〔又ハ私〕所有之處全人義ハ明治何年何月
何日退隱全年全月全日私義家督相續致候

〔又ハ何ノ誰〕〔家督相續爲致〕隨テ前記ノ
地所讓受〔讓渡〕候ニ付何々區裁判所〔何
々出張所〕ニ出頭其登記願ニ關スル一切
ノ件

右代理ノ委任狀依テ如件

年月日 何郡何村大字何々番地
何ノ誰

備考 此外地所讓渡證ヲ正副貳通ヲ要スレトモ
前葉賣買〔讓與〕ノ證書ト同様ノ書体ニ依

備考

備考

リ該文ニ依リ作製スヘシ
家屋ハ宅地境界線及ヒ建家ノ圖形ヲ記載
シタル繪圖ヲ付スヘシ
證書文中無代價ト明示スヘシ

◎名刺

何郡何村大字何登記第何號
地所 建物 登記簿謄本下付願
此手數料金拾五錢

年月日 何郡何村大字何々番地
何ノ誰

備考 一本願ハ右名刺ノミニテ其謄本下付セラ
ル但シ登記番號謄號ニ付金拾五錢トス
〔以下擧有權者〕

民事刑事行政上ノ訴訟鑑定
代言辨護及其他法律事務ノ
依頼ニ應シ着實熱心ニ取扱
ヒ誓テ權利ノ保護者タル本
分ヲ盡ス

水戸市上市南町二十二番地

法學士 辨護士 田中秀四郎法律事務所

新治郡土浦町字外西町

出張法律事務所

明治二十九年十二月五日印刷
明治全 年全 月八日發行

非賣品

茨城縣水戸市上市仲町一番地

著作兼 發行者 金澤鉄三

全縣全市上市南ノ九二番地

印刷者 柴謙吉

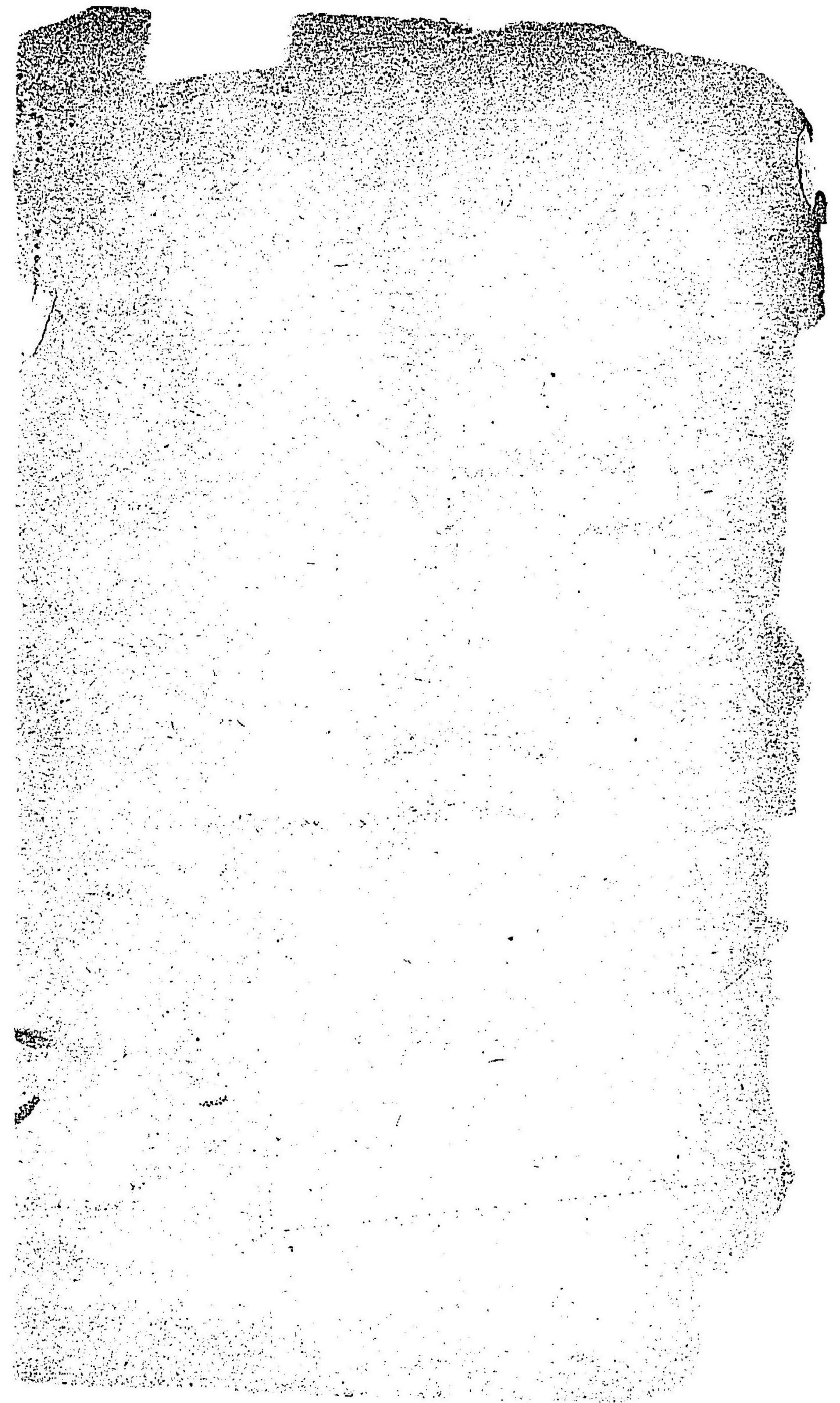
全 所

印刷所 弘文社

全 縣全 市上市仲町一番地

發行所 金澤出版事務所





禁電子式複写

國民之寶典

全

水戸

金澤出版事務所藏版

編輯 山崎慎三君題字
校閱 田中秀四郎君
編纂 金澤鉄三

030985-000-6

CZ-5-0115

國民之寶典

金沢 鉄三/編

M29

BBC-0451

